交付図書の訂正について

令和５年３月１０日付けで入札公告を行った「東北自動車道　迫川橋補修工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、訂正した交付図書は、競争参加資格申請者へ送付致します。

令和　５年　４月１０日

契約責任者
東日本高速道路株式会社
東北支社長　田仲　博幸

【訂正内容】
・設計図
※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

東北自動車道

迫川橋補修工事

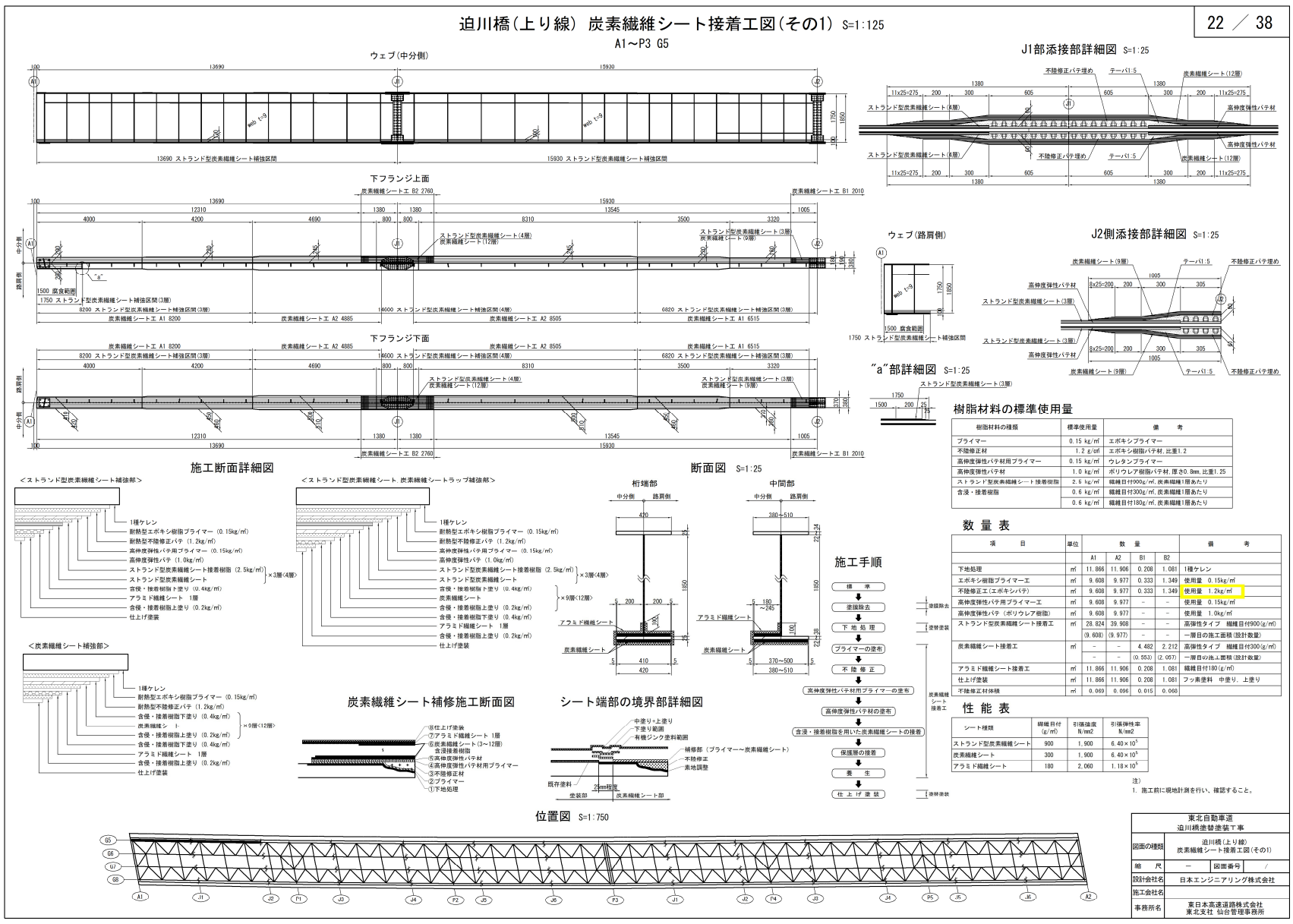
交付図書正誤表

東日本高速道路㈱東北支社
仙　台　管　理　事　務　所

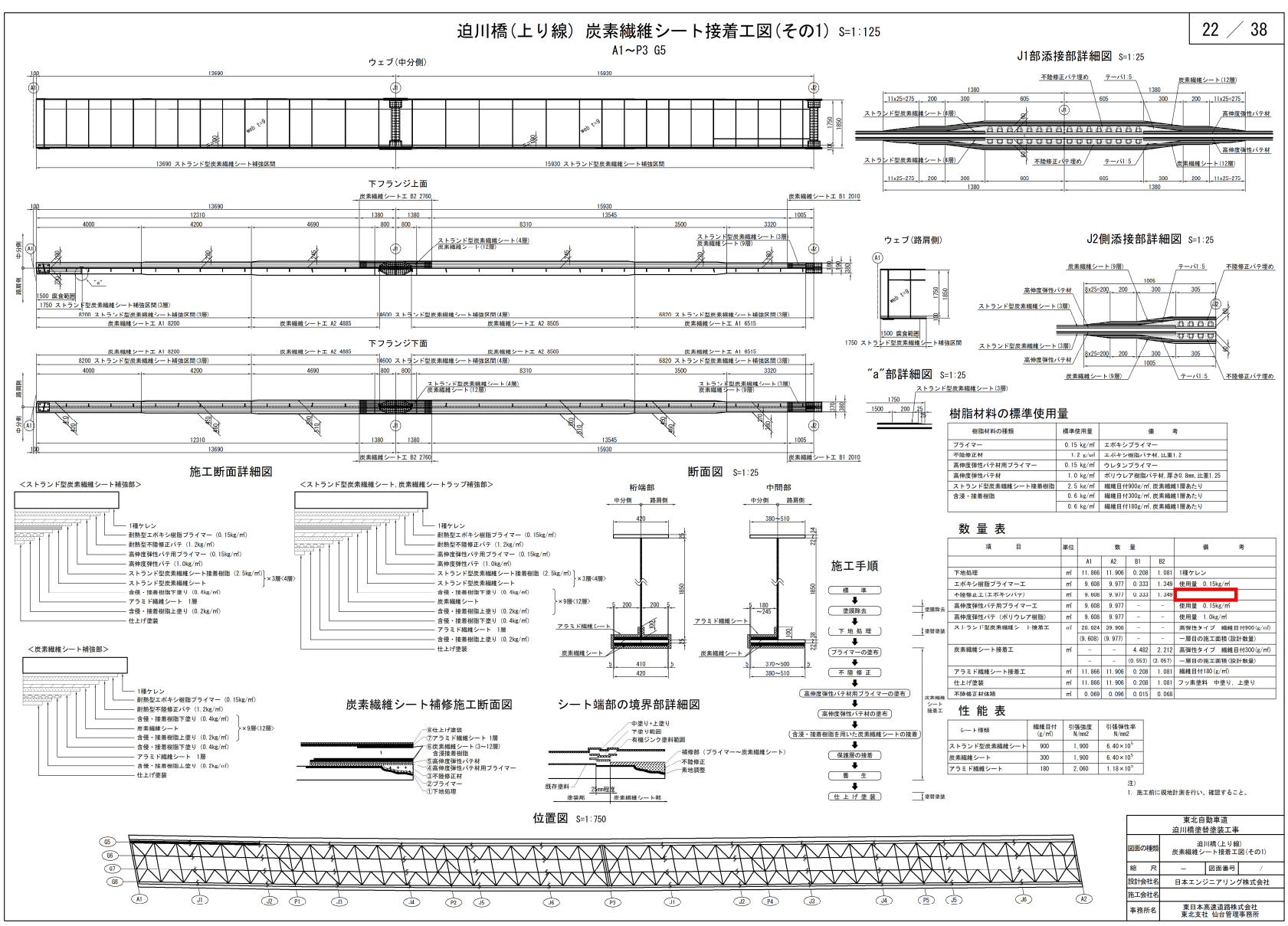
正誤表（１／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ２２／３８	



正



正誤表（２／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

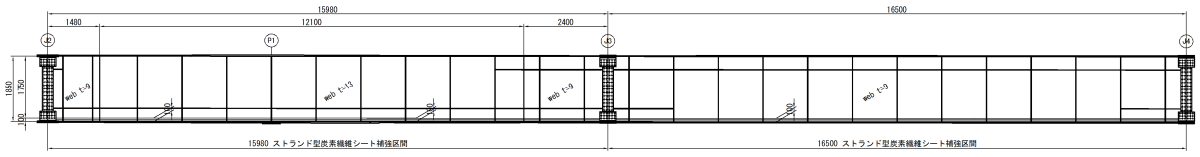
対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ２３／３８	

23 ／ 38

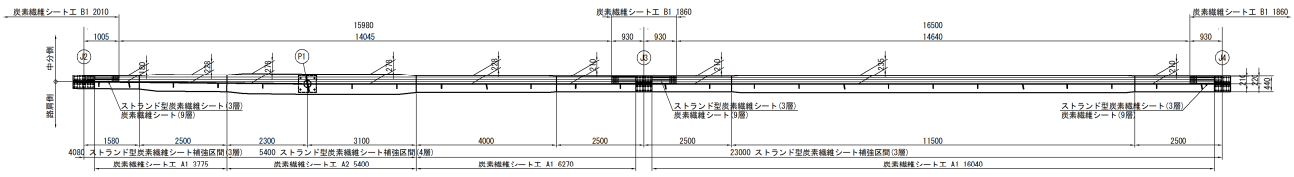
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その2） S=1:125

A1～P3 G5

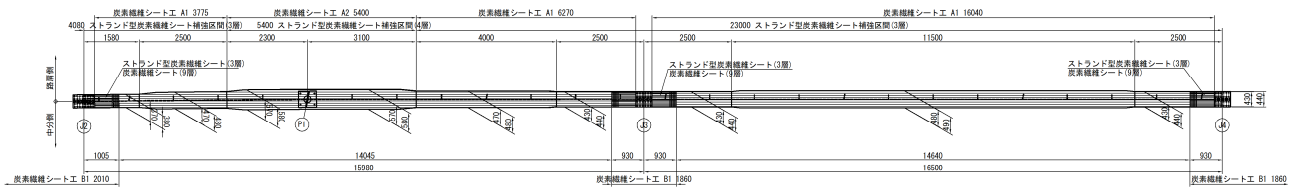
ウェブ（中分側）



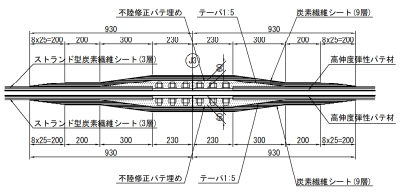
下フランジ上面



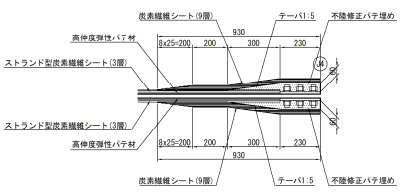
下フランジ下面



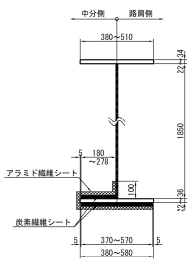
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

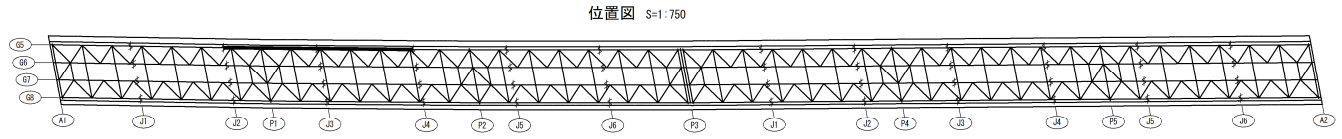


数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	21.391	5.367	0.816	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	17.021	4.579	1.352	－	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ（エポキシパテ）	㎡	17.021	4.579	1.352	－	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	17.021	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.021	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	51.063	18.316	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(17.021)	(4.579)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.941	－	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(2.362)	－	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	21.391	5.367	0.816	－	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	21.391	5.367	0.816	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.134	0.046	0.585	－	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋塗替塗装工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その2)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

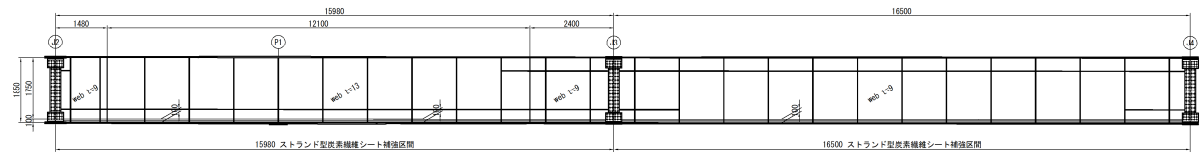
正

23 ／ 38

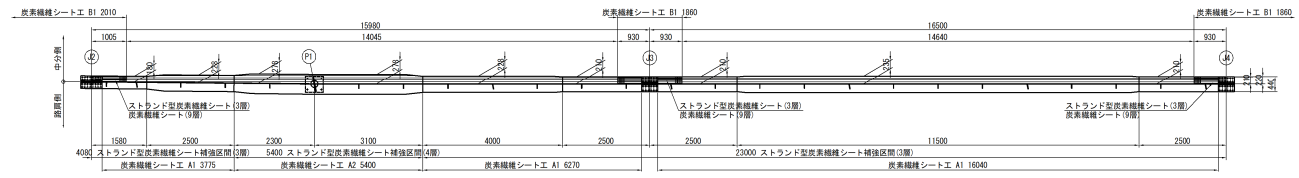
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その2） S=1:125

A1～P3 G5

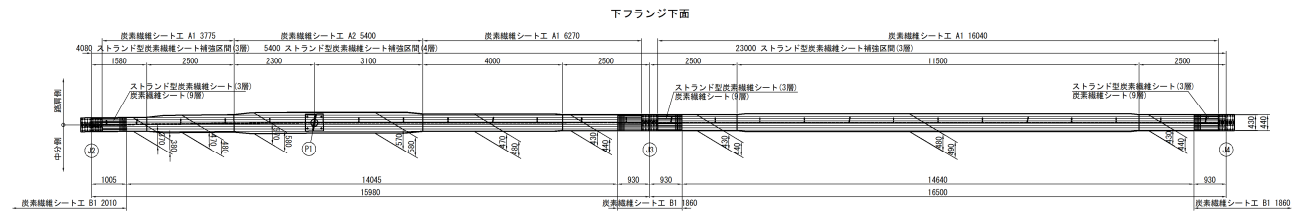
ウェブ（中分側）



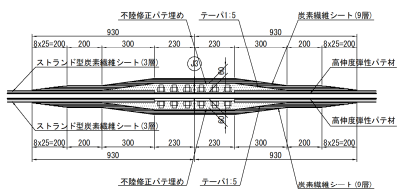
下フランジ上面



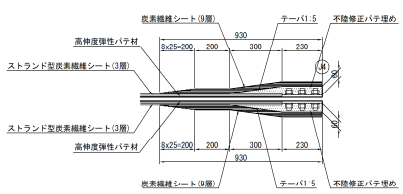
下フランジ下面



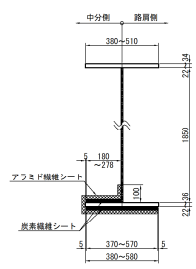
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

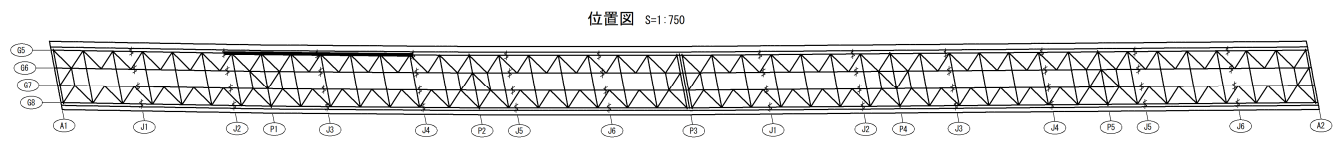


数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	21.391	5.367	0.816	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	17.021	4.579	1.352	－	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ（エポキシパテ）	㎡	17.021	4.579	1.352	－	
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	17.021	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.021	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	51.063	18.316	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(17.021)	(4.579)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.941	－	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(2.362)	－	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	21.391	5.367	0.816	－	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	21.391	5.367	0.816	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.134	0.046	0.059	－	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750

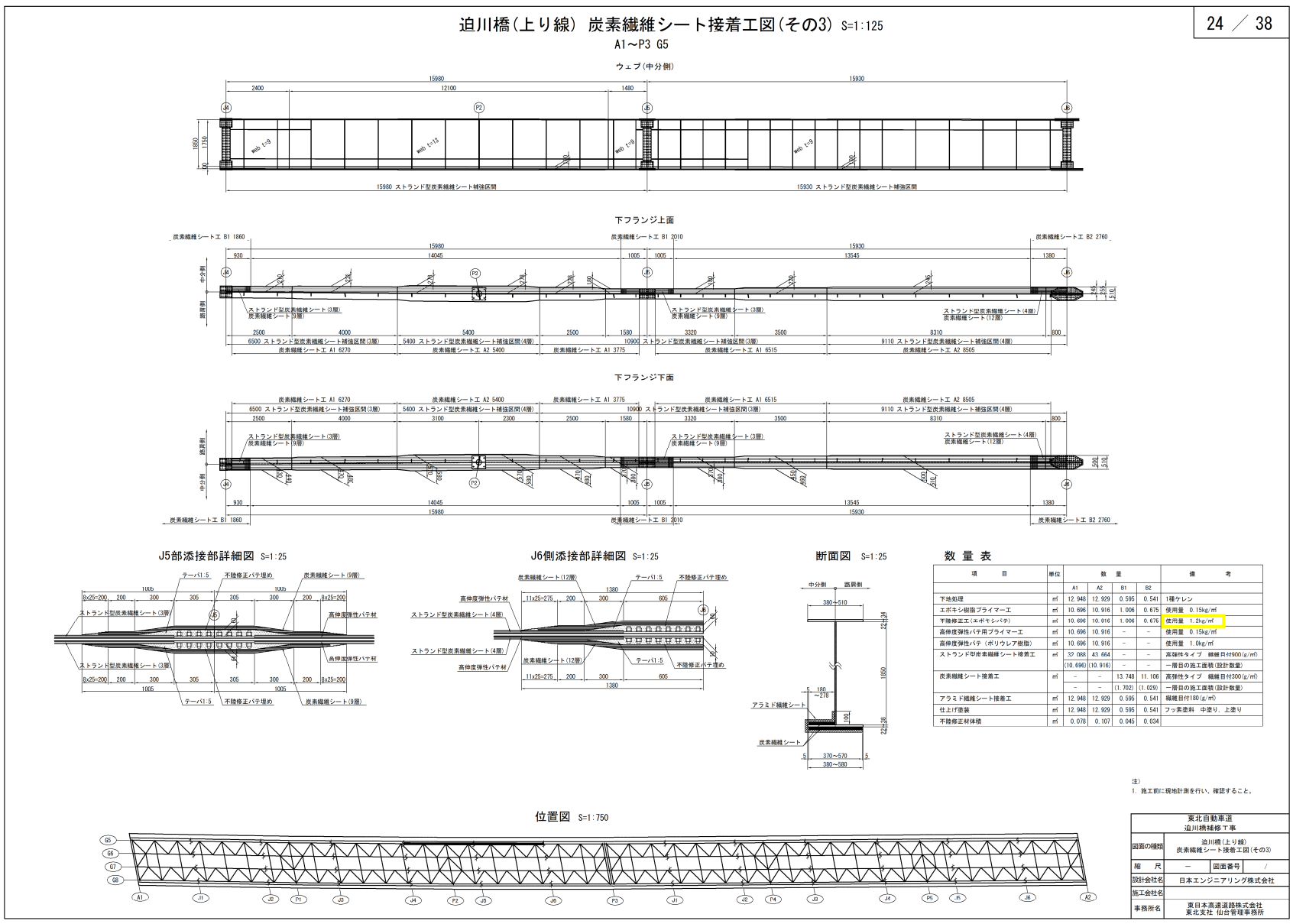


東北自動車道 迫川橋塗替塗装工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その2)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

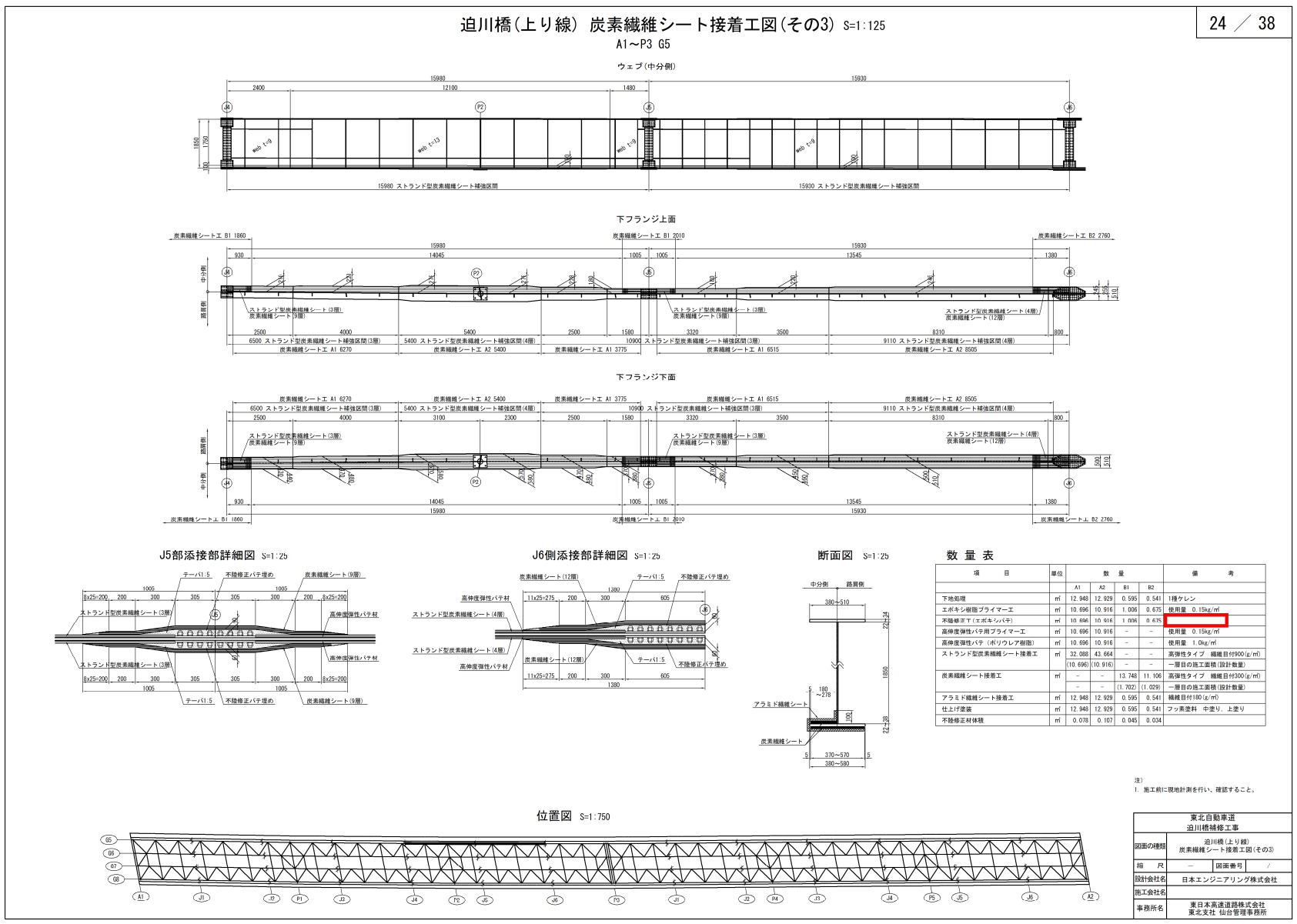
正誤表（３／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ２４／３８	



正



（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

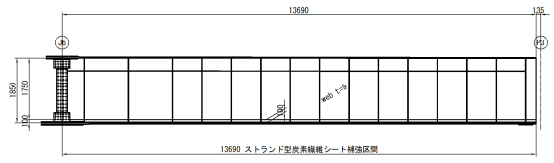
対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ２５／３８	

25 ／ 38

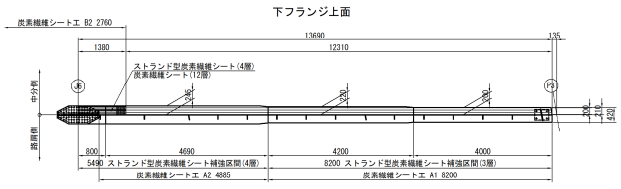
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その4） S=1:125

A1～P3 G5

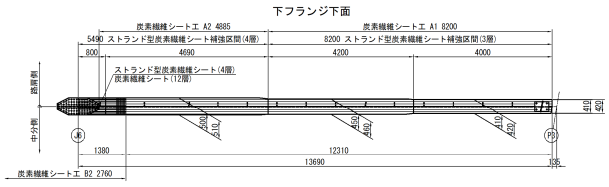
ウェブ（中分側）



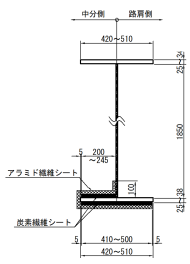
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25



数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.344	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	5.254	3.640	－	0.675	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	5.254	3.640	－	0.675	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.560	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.640)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.344	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.344	－	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750

東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その4)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

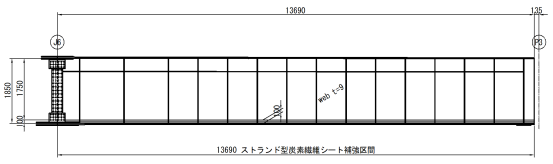
正

25 ／ 38

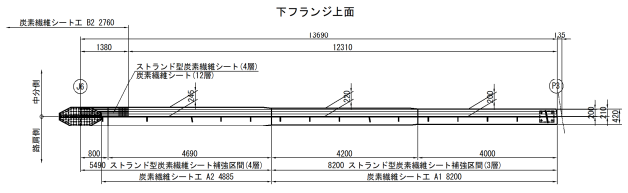
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その4） S=1:125

A1～P3 G5

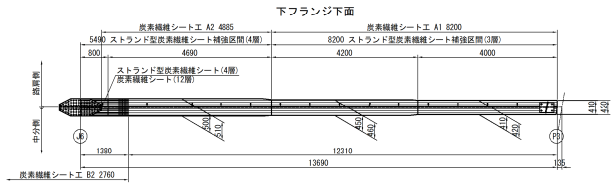
ウェブ（中分側）



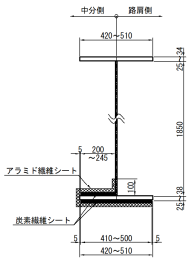
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25

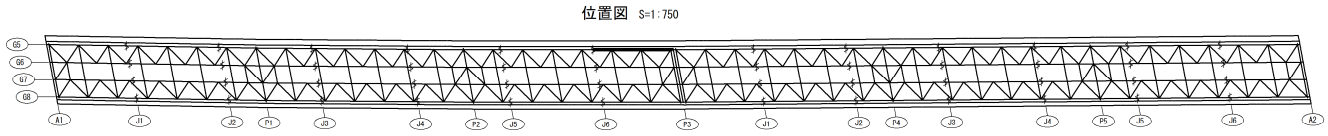


数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.344	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	5.254	3.640	－	0.675	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	5.254	3.640	－	0.675	
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.560	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.640)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.344	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.344	－	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その4)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

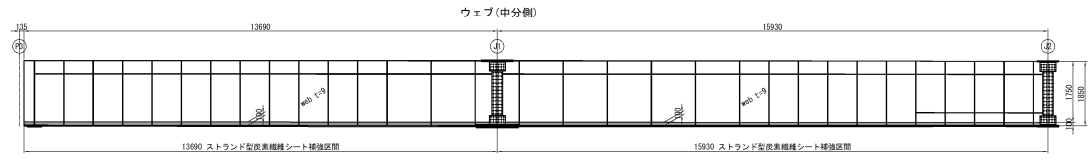
対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ２６／３８	

26 ／ 38

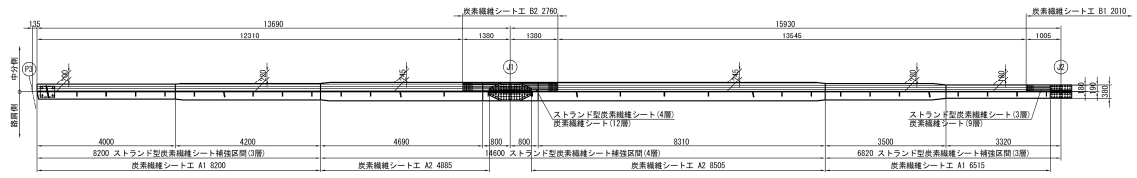
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その5） S=1:125

P3～A2 G5

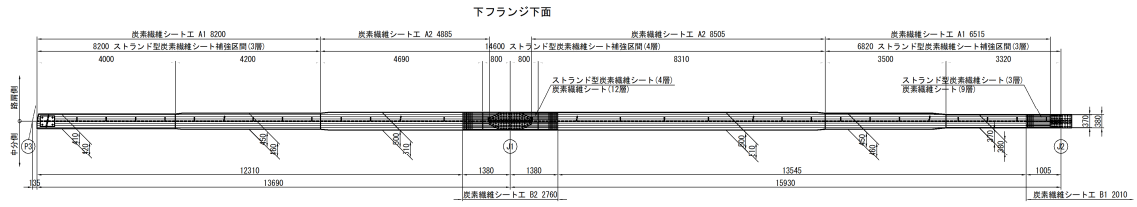
ウェブ（中分側）



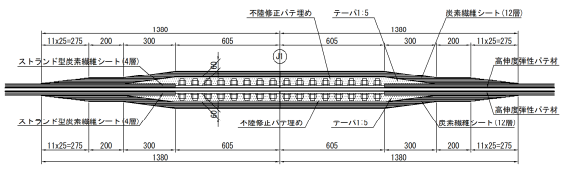
下フランジ上面



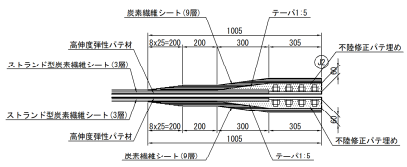
下フランジ下面



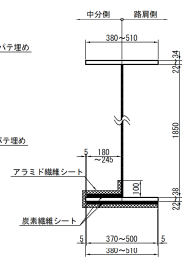
J1部添接部詳細図 S=1:25



J2側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

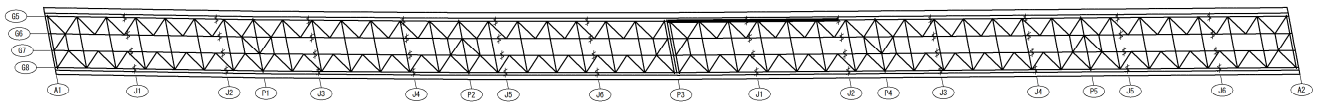


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	9.258	9.977	0.333	1.349	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工（エポキシパテ）	㎡	9.258	9.977	0.333	1.349	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	9.258	9.977	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	9.258	9.977	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	27.774	39.908	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(9.258)	(9.977)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	4.482	22.212	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(0.553)	(2.057)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.067	0.096	0.015	0.068	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その5）		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

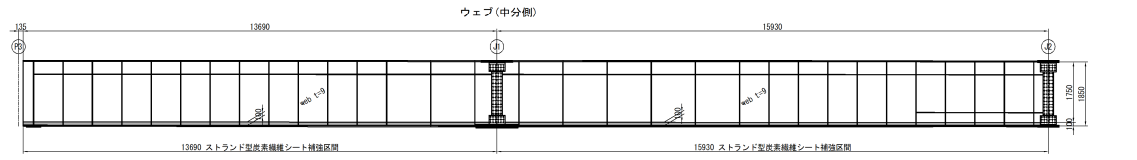
正

26 ／ 38

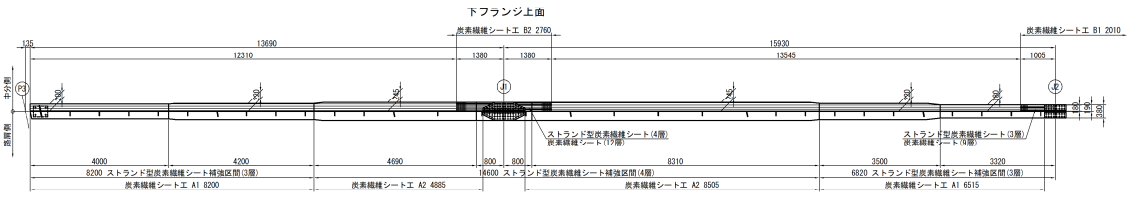
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その5） S=1:125

P3～A2 G5

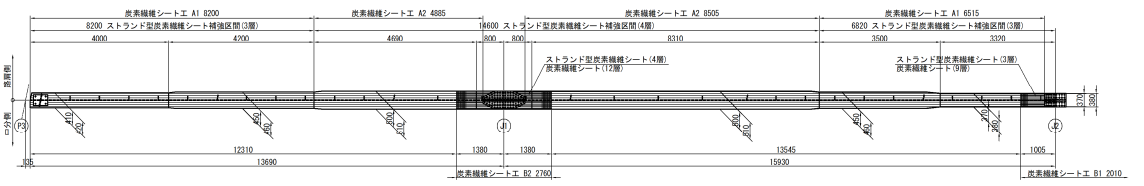
ウェブ（中分側）



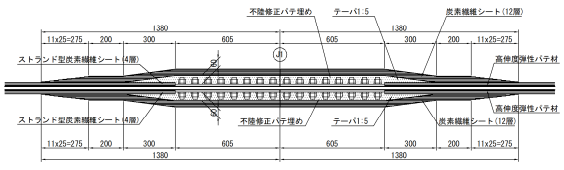
下フランジ上面



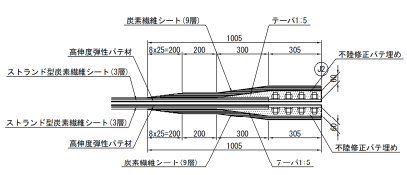
下フランジ下面



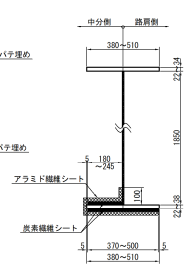
J1部添接部詳細図 S=1:25



J2側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

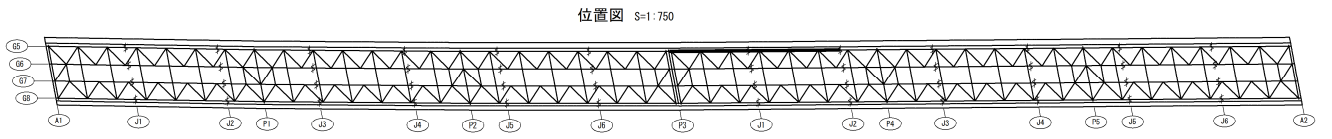


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	9.258	9.977	0.333	1.349	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工（エポキシパテ）	㎡	9.258	9.977	0.333	1.349	－
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	9.258	9.977	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	9.258	9.977	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	27.774	39.908	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(9.258)	(9.977)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	4.482	22.212	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(0.553)	(2.057)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.067	0.096	0.015	0.068	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その5）		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

正誤表（６／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

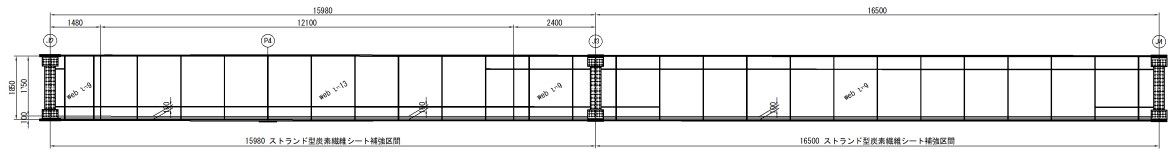
対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ２７／３８	

27 ／ 38

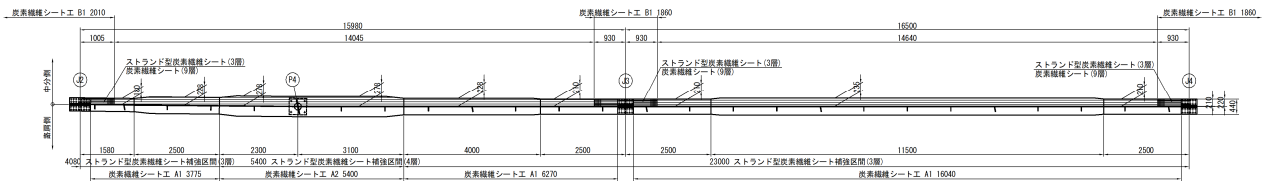
迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その6) S=1:125

P3～A2 G5

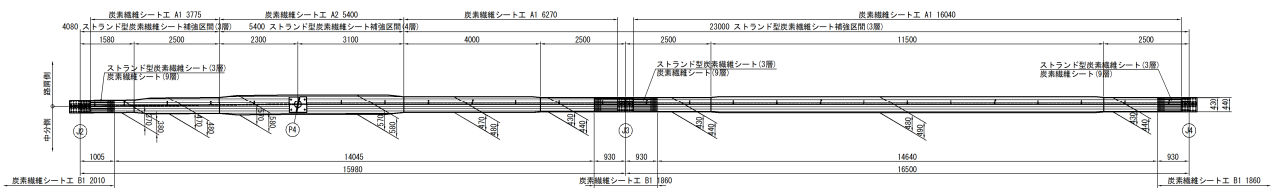
ウェブ(中分側)



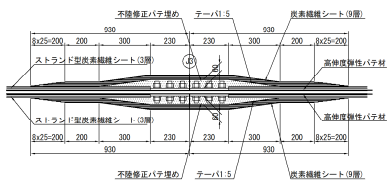
下フランジ上面



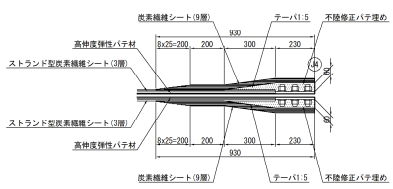
下フランジ下面



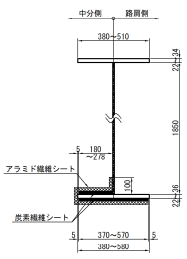
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

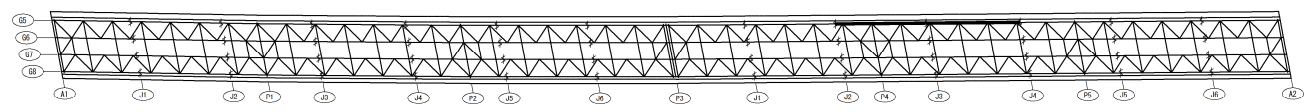


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	20.885	5.367	0.816	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	17.349	4.579	1.352	－	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	17.349	4.579	1.352	－	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	17.349	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.349	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	51.063 (17.349)	18.316 (4.579)	－ －	－ －	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡) 一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.941	－	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
アラミド繊維シート接着工	㎡	－ 20.885	－ 5.367	(2.362) 0.816	－ －	一層目の施工面積(設計数量) 繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	20.885	5.367	0.816	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.134	0.046	0.585	－	

注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その6)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

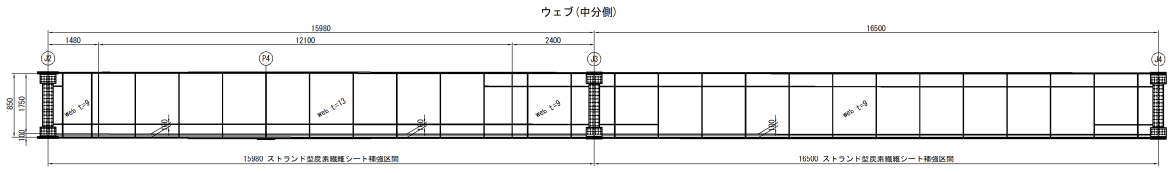
正

27 ／ 38

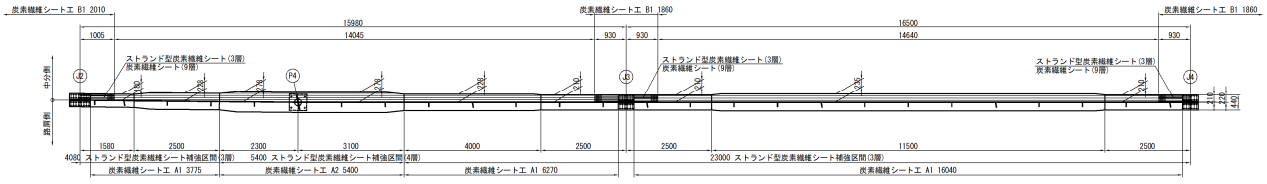
迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その6) S=1:125

P3～A2 G5

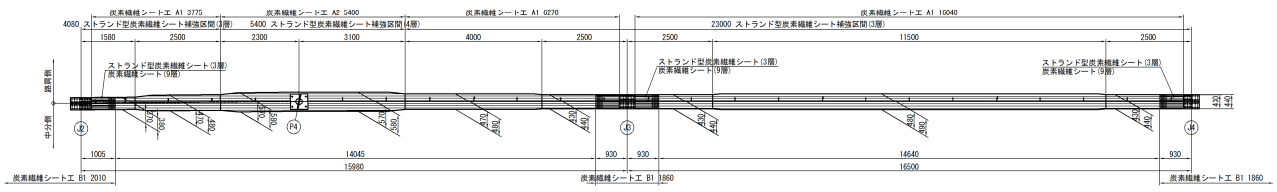
ウェブ(中分側)



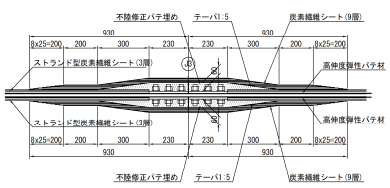
下フランジ上面



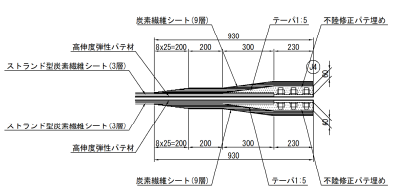
下フランジ下面



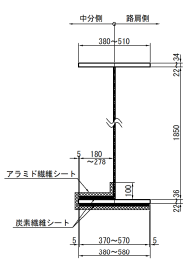
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

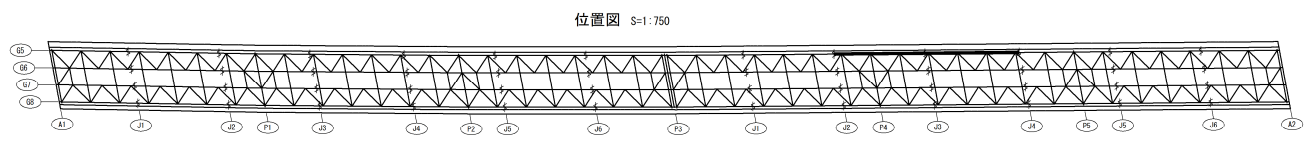


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	20.885	5.367	0.816	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	17.349	4.579	1.352	－	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	17.349	4.579	1.352	－	
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	17.349	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.349	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	51.063 (17.349)	18.316 (4.579)	－ －	－ －	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡) 一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.941	－	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(2.362)	－	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	20.885	5.367	0.816	－	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	20.885	5.367	0.816	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.134	0.046	0.059	－	

注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750

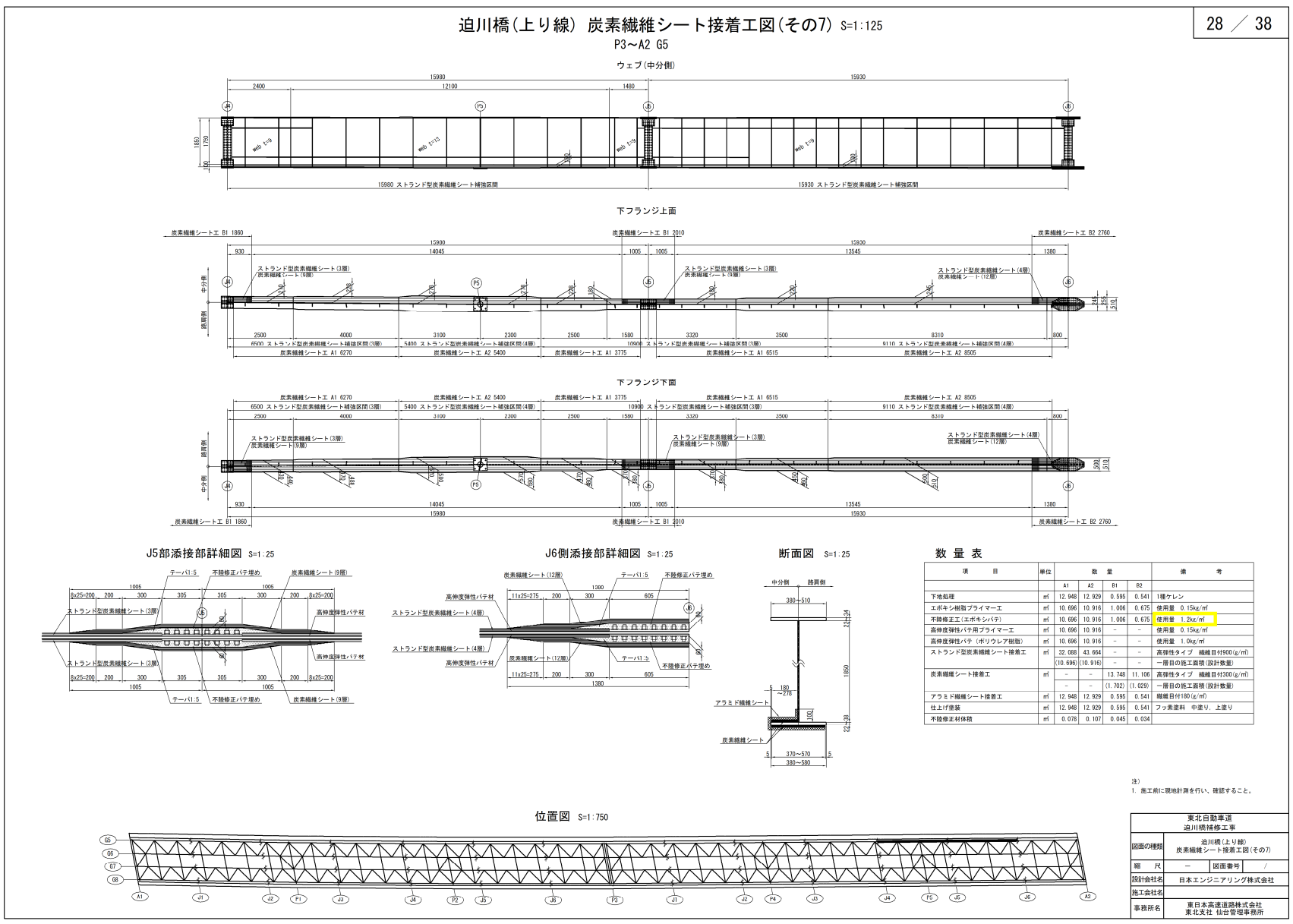


東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その6)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

正誤表（７／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

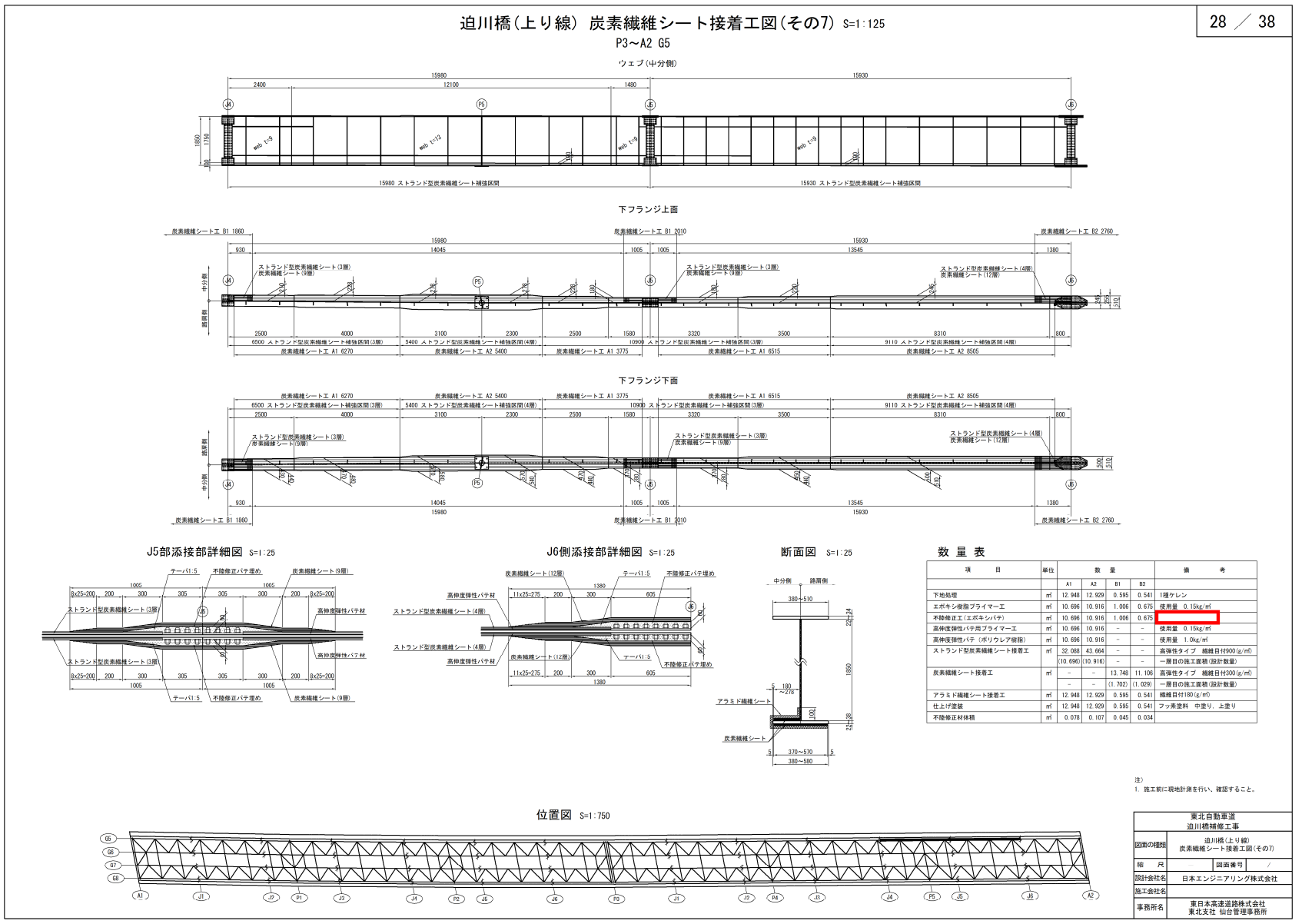
対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ２８／３８	



項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	12.948	12.929	0.595	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	10.696	10.916	1.006	0.675	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	10.696	10.916	1.006	0.675	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	10.696	10.916	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	10.696	10.916	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	32.088	43.664	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(10.696)	(10.916)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	13.748	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(1.702)	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	12.948	12.929	0.595	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	12.948	12.929	0.595	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.078	0.107	0.045	0.034	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

正



項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	12.948	12.929	0.595	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	10.696	10.916	1.006	0.675	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	10.696	10.916	1.006	0.675	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	10.696	10.916	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	10.696	10.916	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	32.088	43.664	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(10.696)	(10.916)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	13.748	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(1.702)	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	12.948	12.929	0.595	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	12.948	12.929	0.595	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.078	0.107	0.045	0.034	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

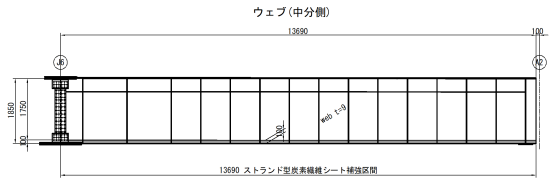
対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ２９／３８	

29 ／ 38

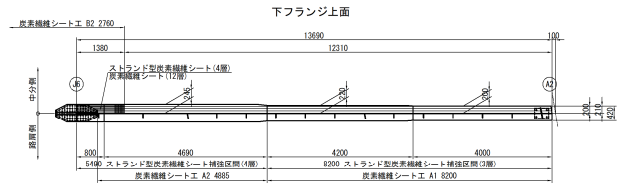
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その8） S=1:125

P3～A2 G5

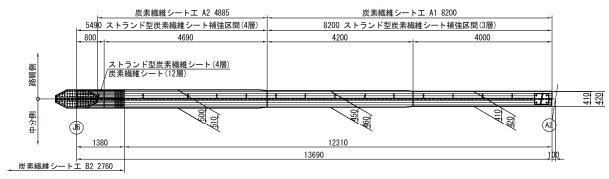
ウェブ（中分側）



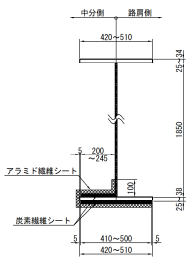
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25

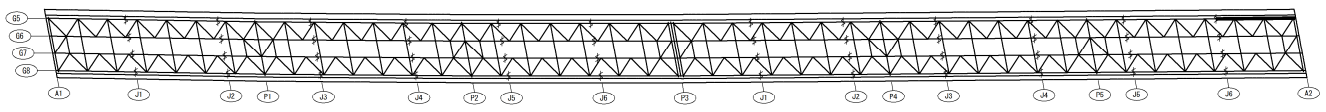


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.344	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	0.675	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工（ﾏﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ）	㎡	5.254	3.640	－	0.675	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.560	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.640)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.344	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.344	－	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その8）		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　仙台管理事務所		

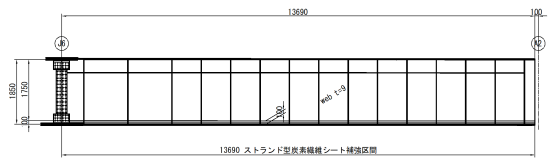
正

29 ／ 38

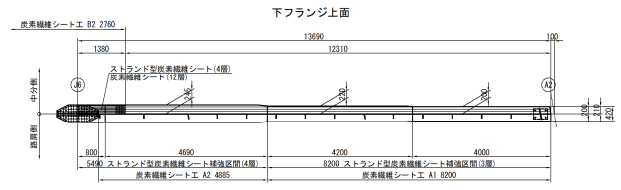
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その8） S=1:125

P3～A2 G5

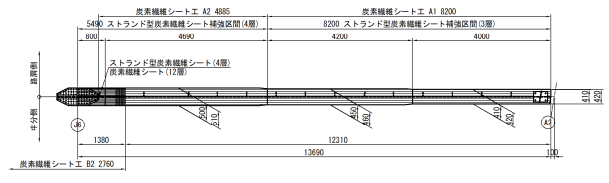
ウェブ（中分側）



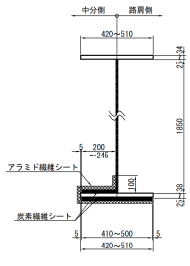
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25

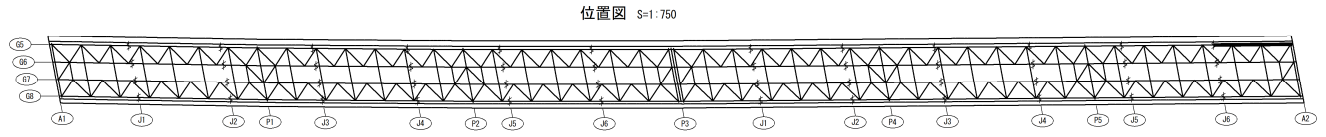


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.344	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	0.675	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工（エポキシパテ）	㎡	5.254	3.640	－	0.675	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.560	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.640)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.344	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.344	－	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎡	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

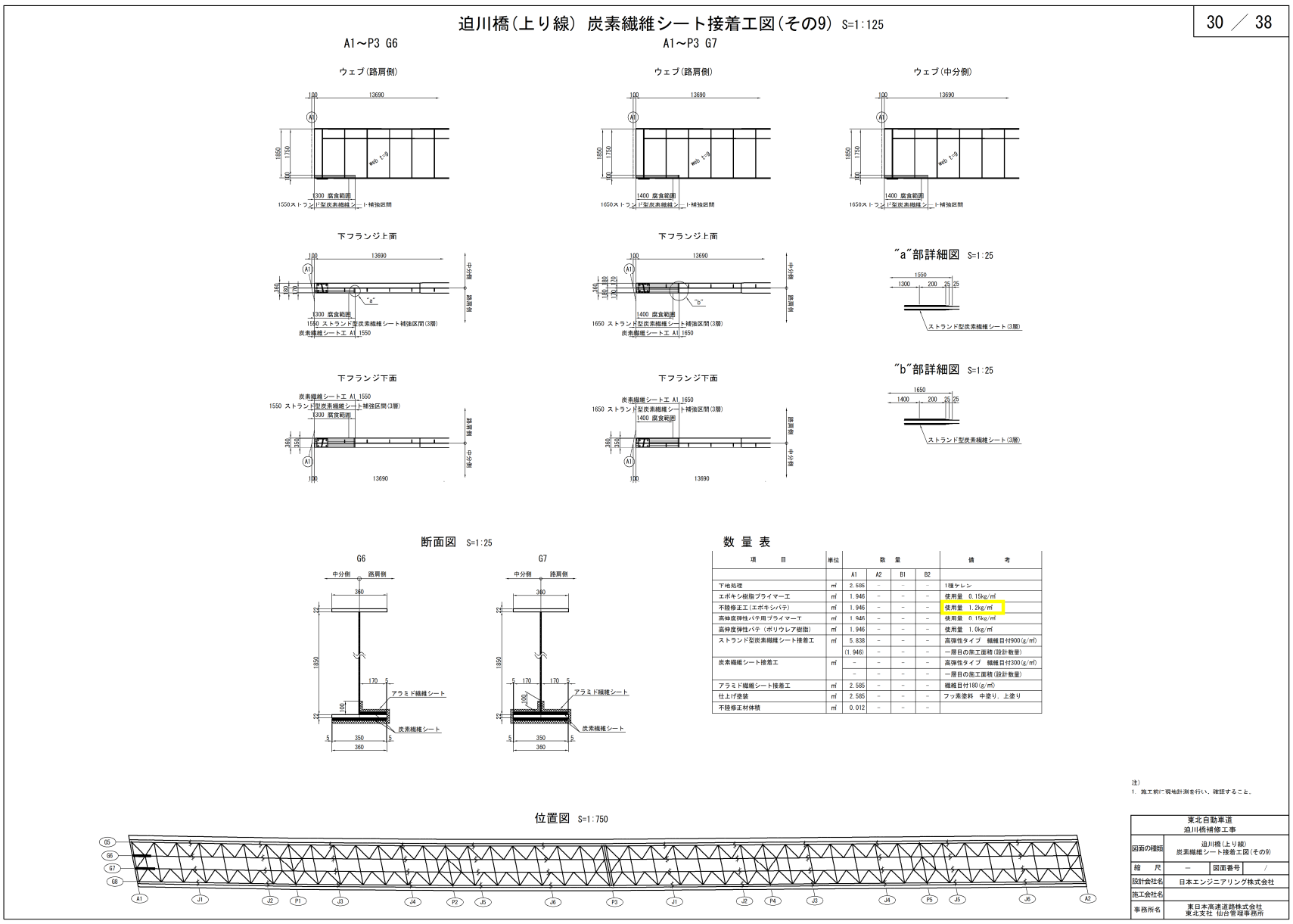
位置図 S=1:750



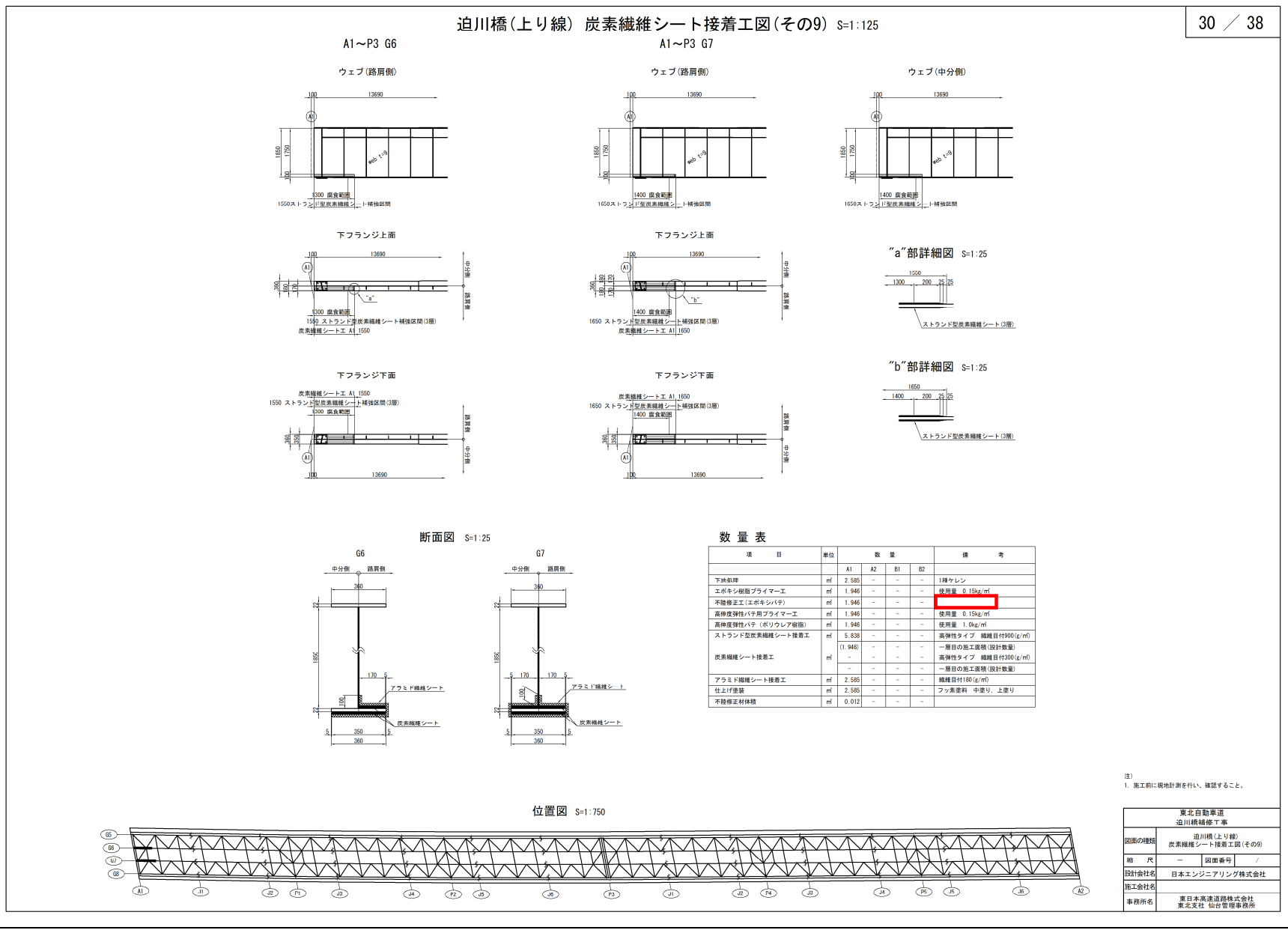
東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その8）		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社　仙台管理事務所		

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ３０／３８	



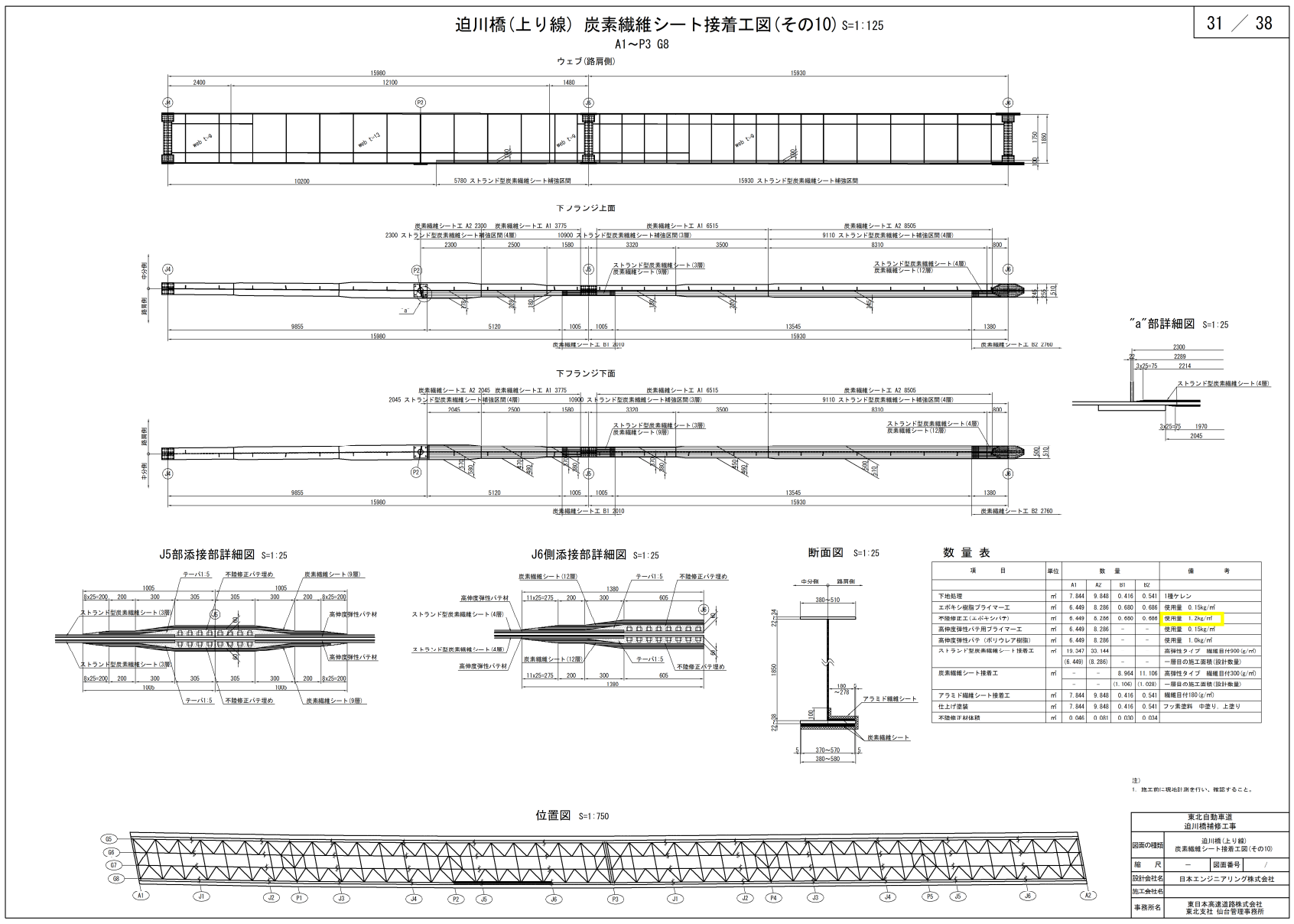
正



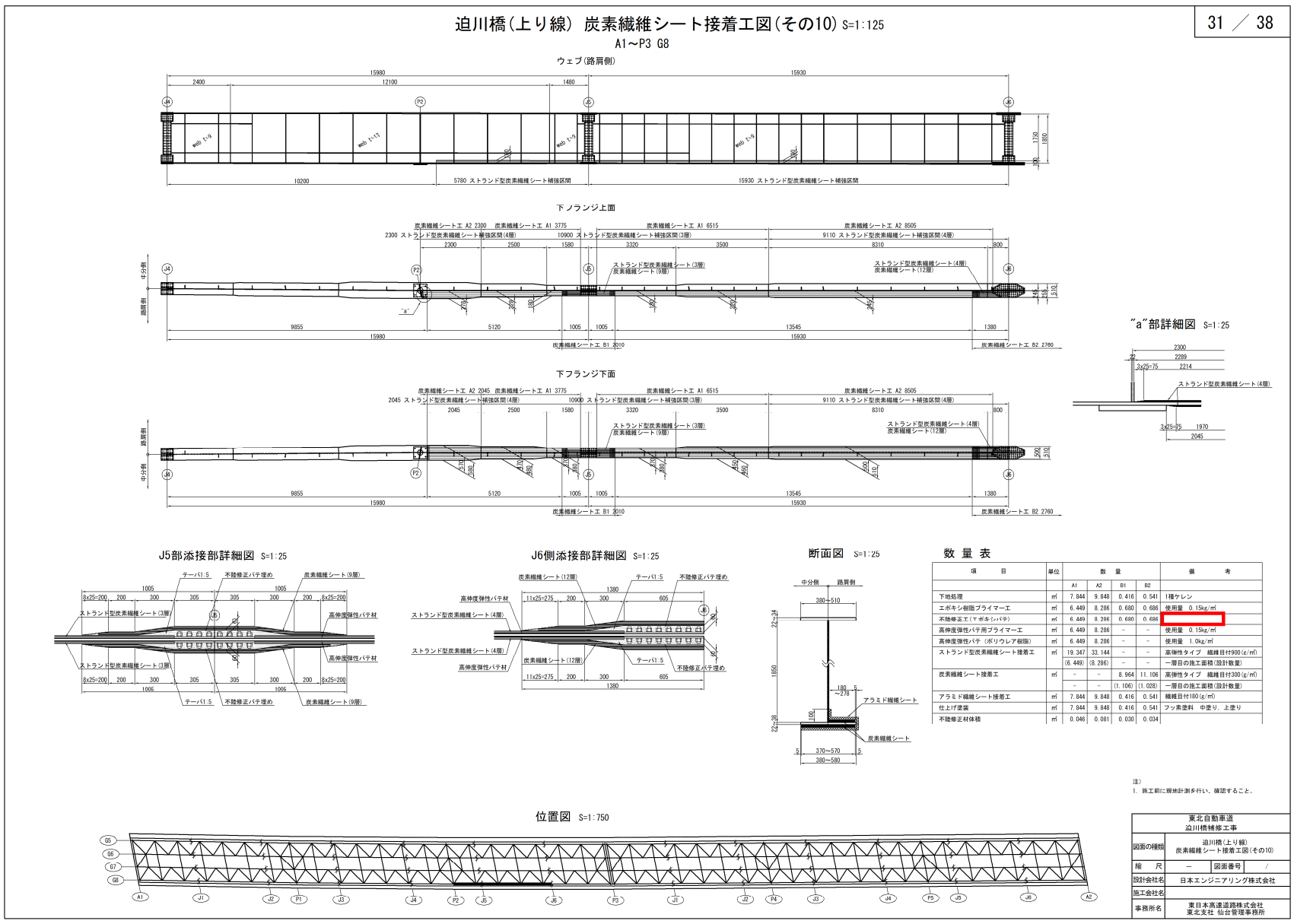
正誤表（１０／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ３１／３８	



正



（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

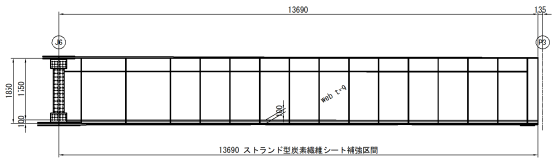
対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ３２／３８	

32 ／ 38

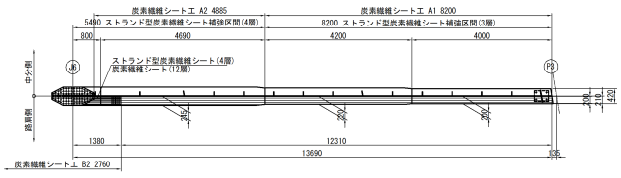
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その11） S=1:125

A1～P3 G8

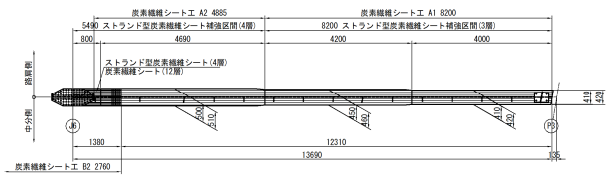
ウェブ（路肩側）



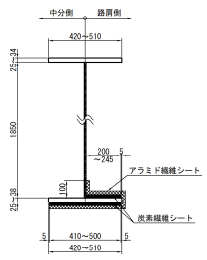
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25

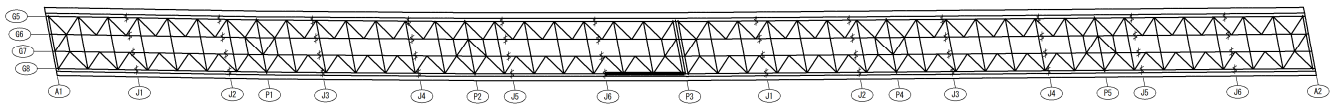


数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.343	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.639	－	0.686	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工（エポキシパテ）	㎡	5.254	3.639	－	0.686	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.639	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.639	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.556	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.639)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.028)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.343	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.343	－	0.541	フッ素塗料　中塗り、上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.046	0.081	－	0.034	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その11)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

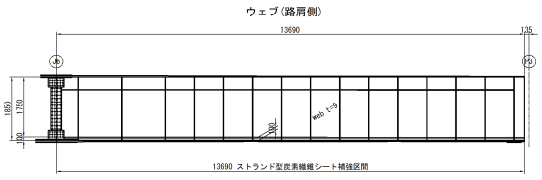
正

32 ／ 38

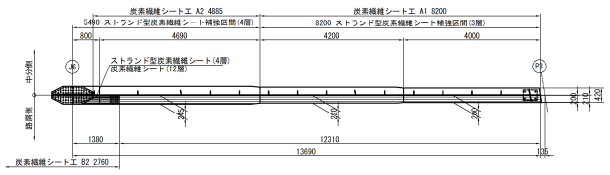
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その11） S=1:125

A1～P3 G8

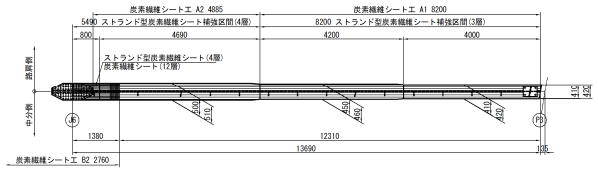
ウェブ（路肩側）



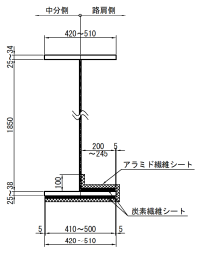
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25

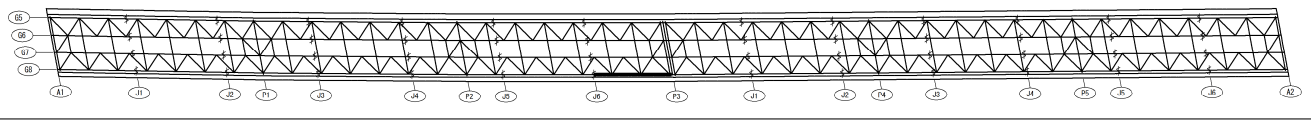


数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.343	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.639	－	0.686	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工（エポキシパテ）	㎡	5.254	3.639	－	0.686	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.639	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.639	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.556	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.639)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.028)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.343	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.343	－	0.541	フッ素塗料　中塗り、上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その11)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

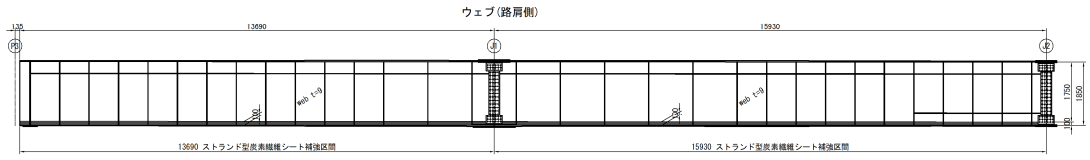
対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ３３／３８	

33 ／ 38

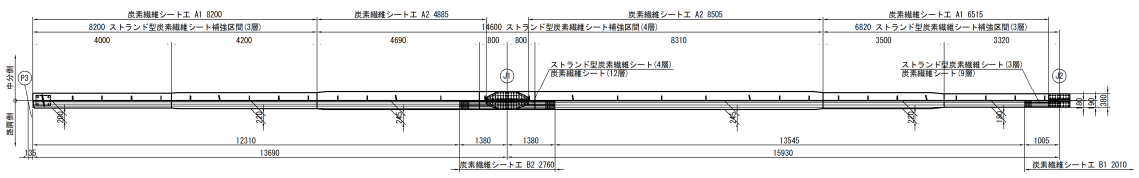
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その12） S=1:125

P3～A2 G8

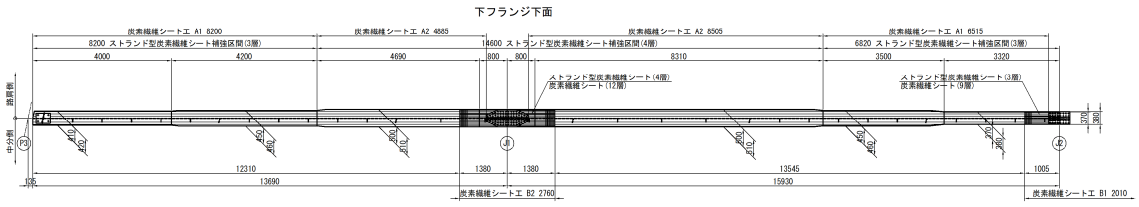
ウェブ（路肩側）



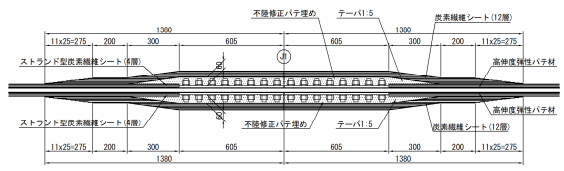
下フランジ上面



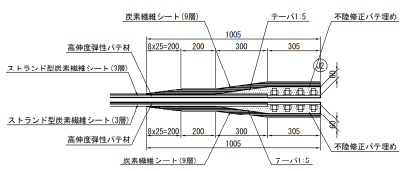
下フランジ下面



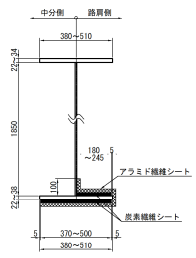
J1部添接部詳細図 S=1:25



J2側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

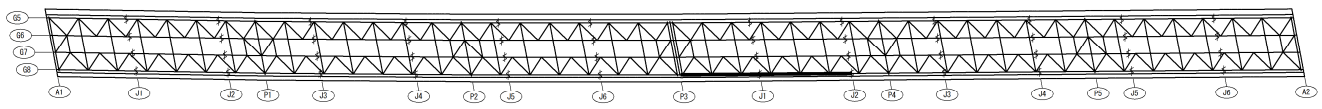


数 量 表

項　目	単位	数 量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	11.258	11.905	0.208	1.081	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	9.257	9.975	0.340	1.371	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	9.257	9.975	0.340	1.371	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	9.257	9.975	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	9.257	9.975	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	27.771	39.900	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(9.257)	(9.975)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	4.482	22.212	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(0.553)	(2.055)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	11.258	11.905	0.208	1.081	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	11.258	11.905	0.208	1.081	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.067	0.096	0.015	0.068	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その12)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

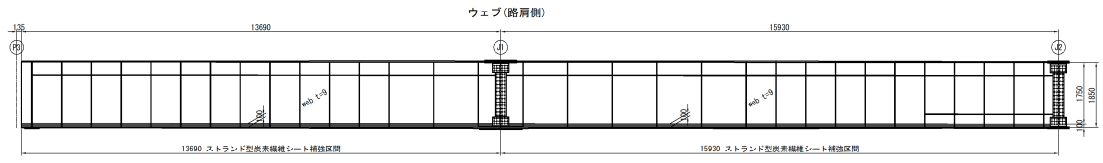
正

33 ／ 38

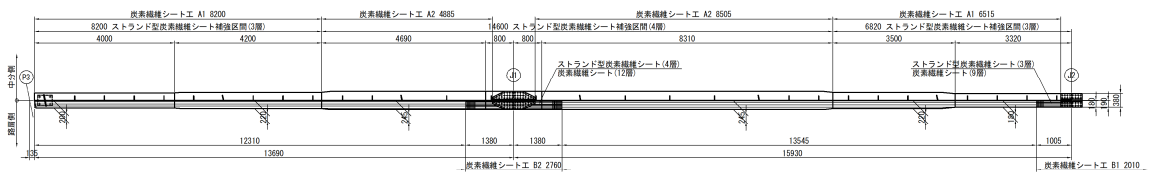
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その12） S=1:125

P3～A2 G8

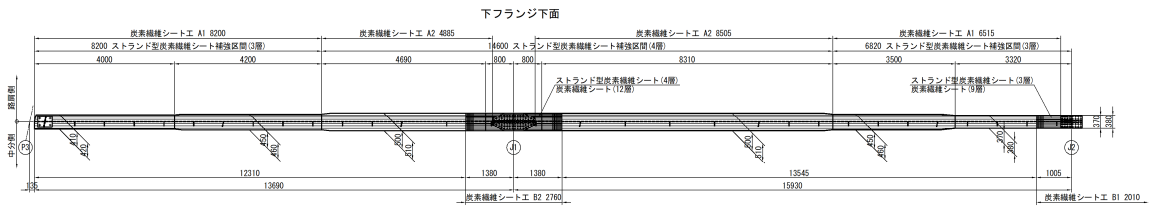
ウェブ（路肩側）



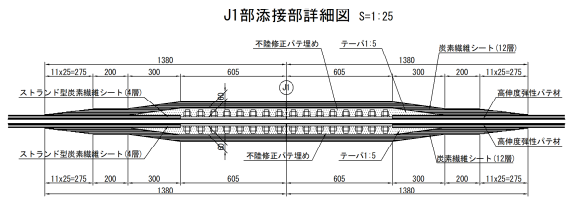
下フランジ上面



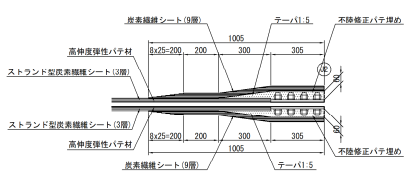
下フランジ下面



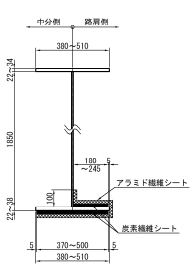
J1部添接部詳細図 S=1:25



J2側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

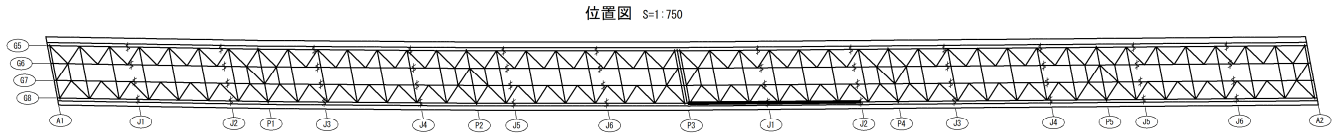


数 量 表

項　目	単位	数 量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	11.258	11.905	0.208	1.081	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	9.257	9.975	0.340	1.371	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	9.257	9.975	0.340	1.371	
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	9.257	9.975	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	9.257	9.975	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	27.771	39.900	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(9.257)	(9.975)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	4.482	22.212	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(0.553)	(2.055)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	11.258	11.905	0.208	1.081	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	11.258	11.905	0.208	1.081	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.067	0.096	0.015	0.068	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その12)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

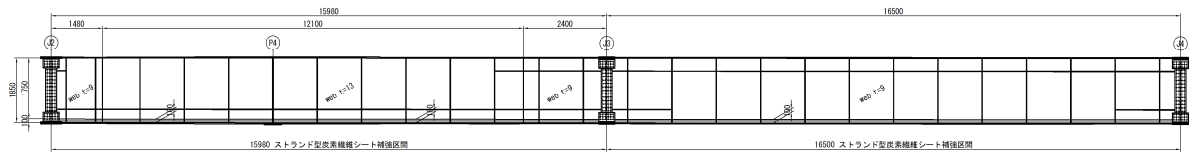
対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ３４／３８	

34 ／ 38

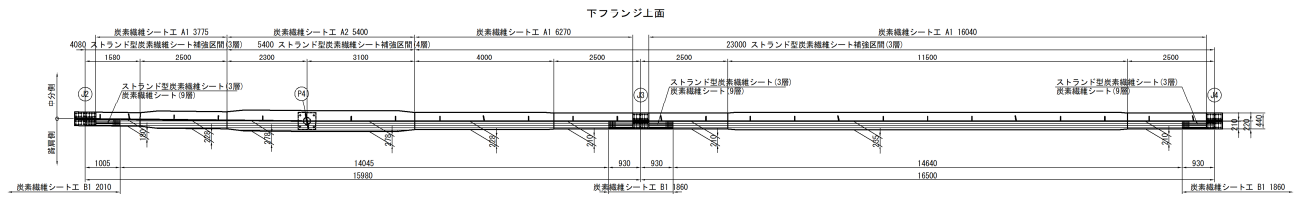
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その13） S=1:125

P3～A2 G8

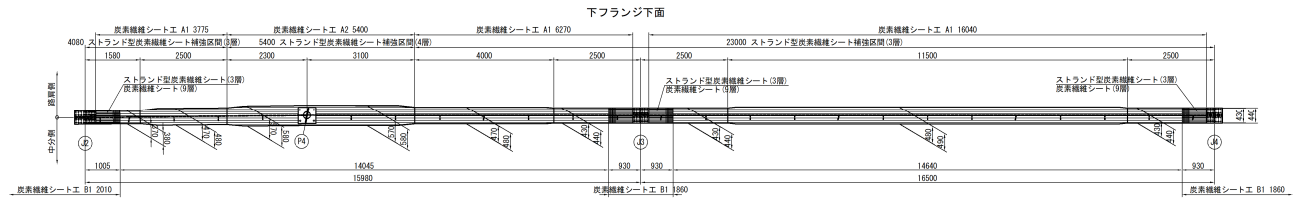
ウェブ（路肩側）



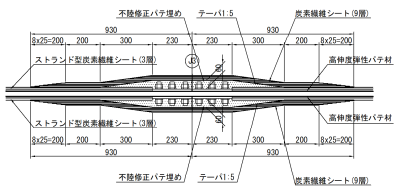
下フランジ上面



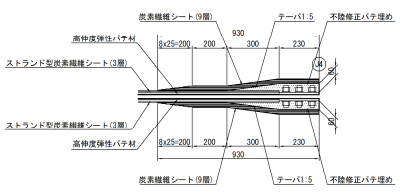
下フランジ下面



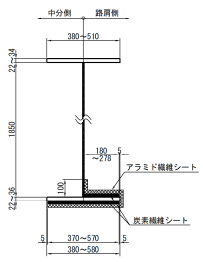
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

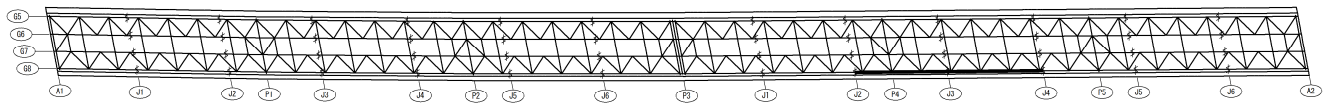


数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	21.391	5.367	0.744	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	17.820	4.579	1.381	－	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	17.820	4.579	1.381	－	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	17.820	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.820	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	53.460	18.316	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(17.820)	(4.579)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.819	－	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(2.338)	－	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	21.391	5.367	0.744	－	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	21.391	5.367	0.744	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.134	0.046	0.585	－	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その13)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

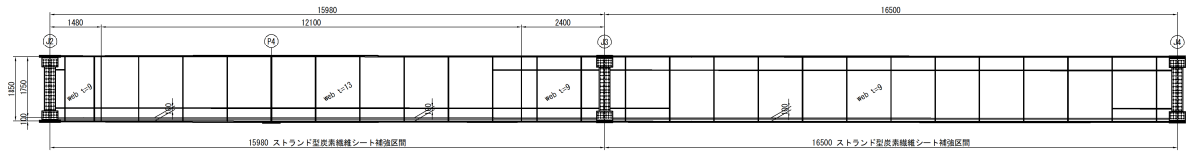
正

34 ／ 38

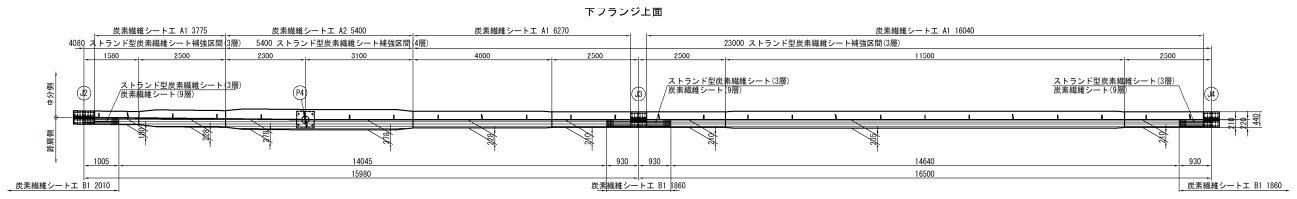
迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その13） S=1:125

P3～A2 G8

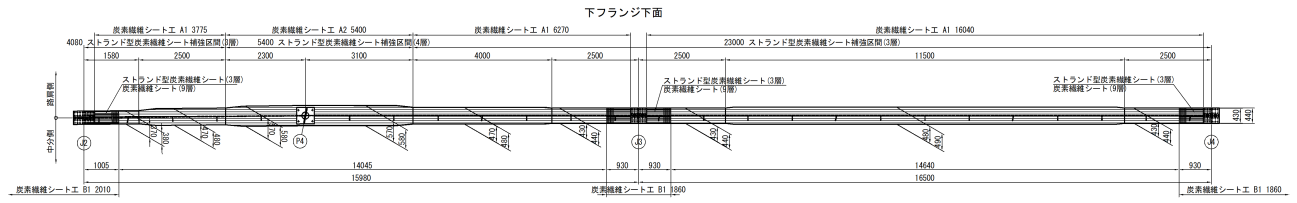
ウェブ（路肩側）



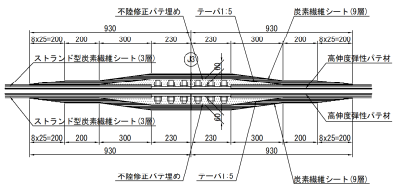
下フランジ上面



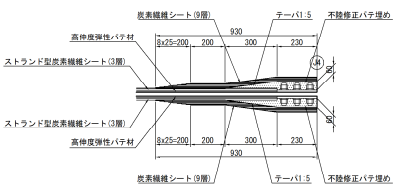
下フランジ下面



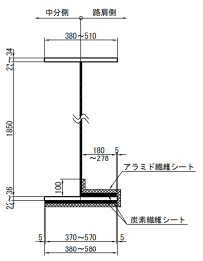
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

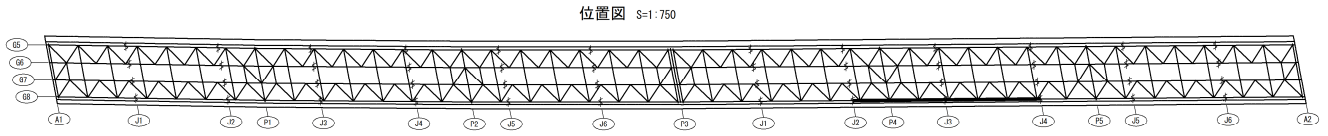


数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	21.391	5.367	0.744	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	17.820	4.579	1.381	－	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	17.820	4.579	1.381	－	
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	17.820	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.820	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	53.460	18.316	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(17.820)	(4.579)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.819	－	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(2.338)	－	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	21.391	5.367	0.744	－	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	21.391	5.367	0.744	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.134	0.046	0.059	－	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

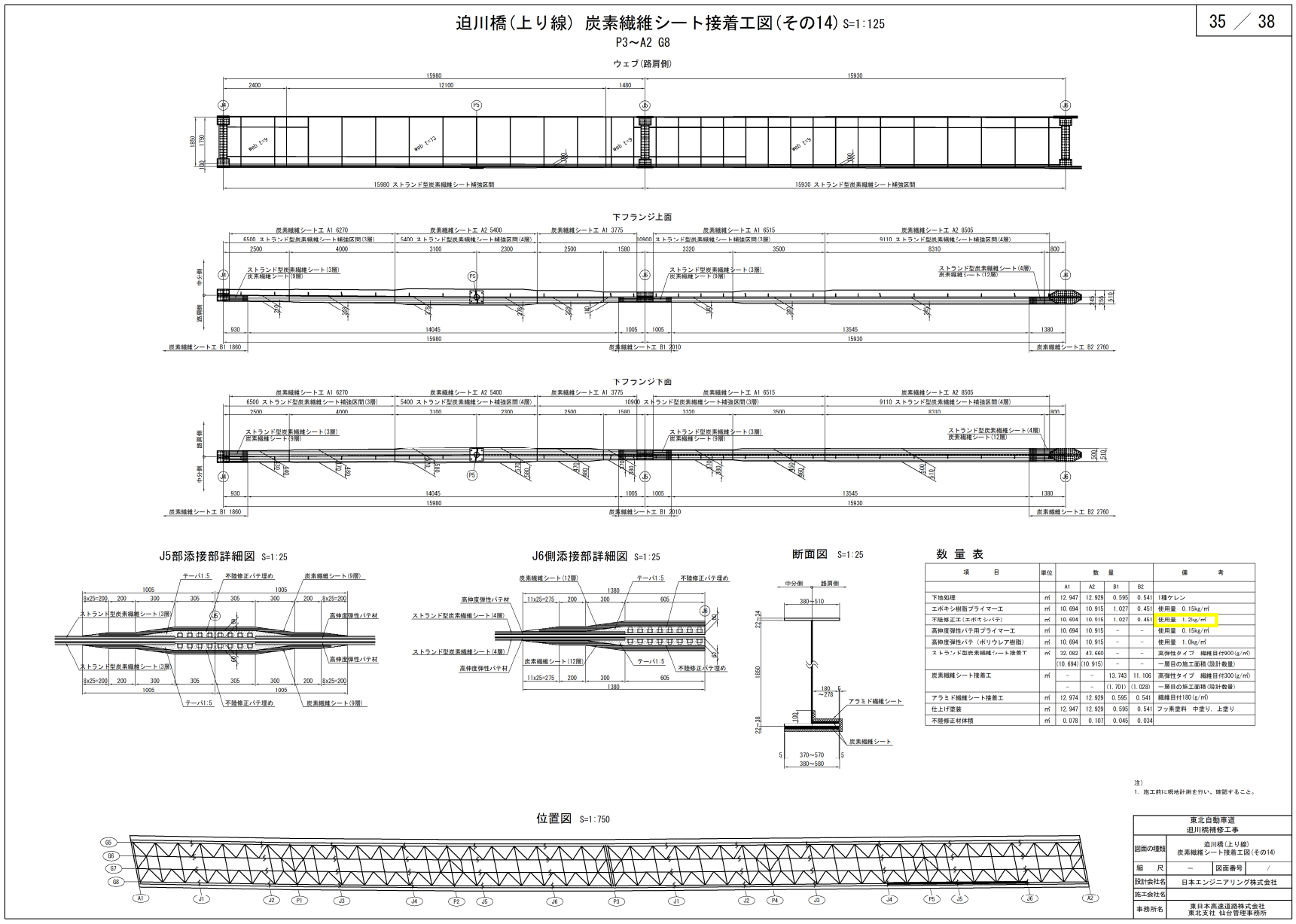
位置図 S=1:750



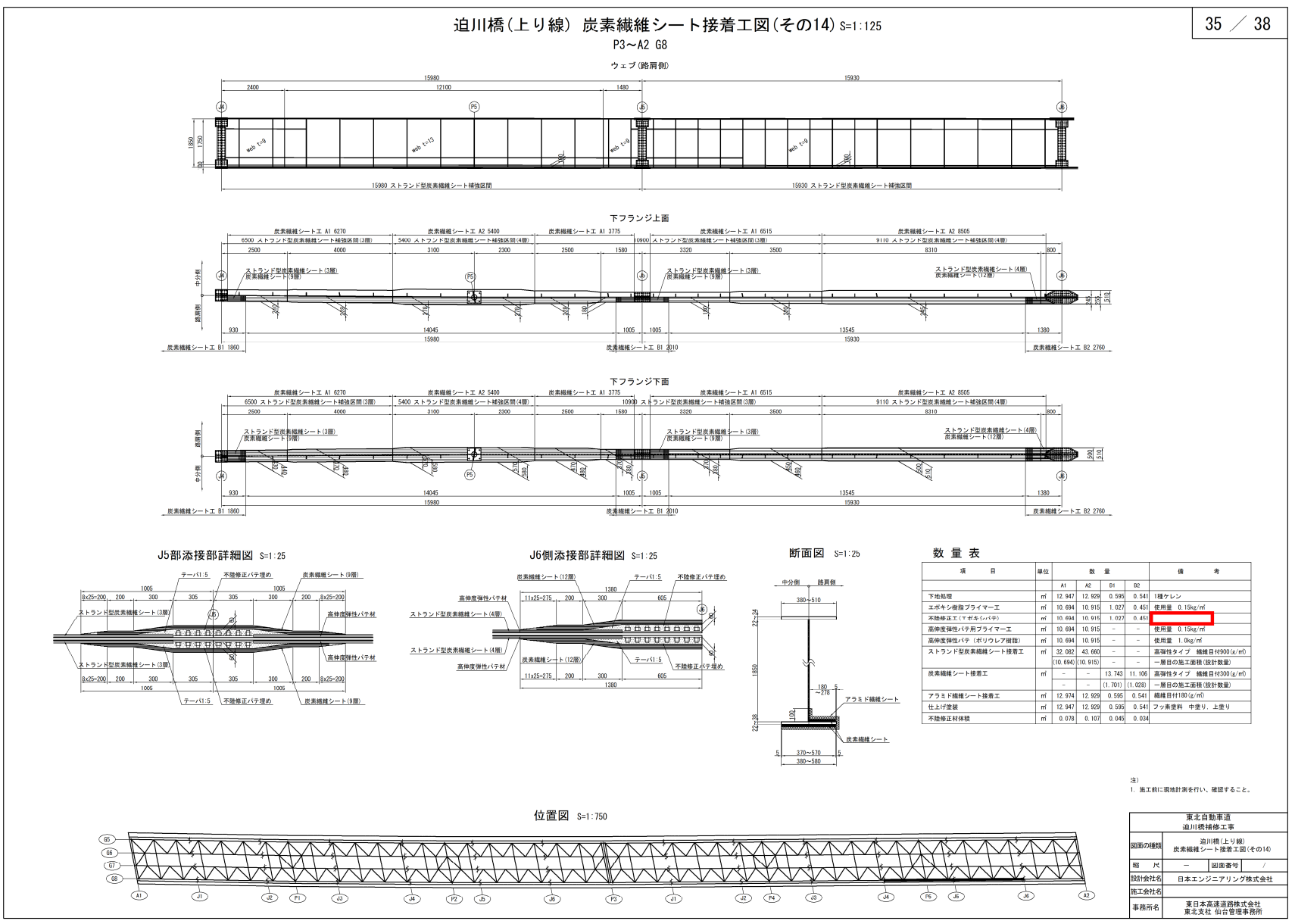
東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その13)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ３５／３８	



正



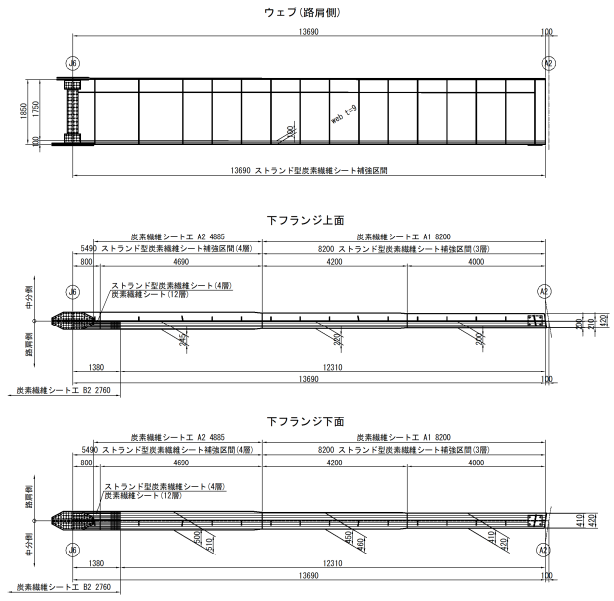
（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 迫川橋 （上り線） ３６／３８	

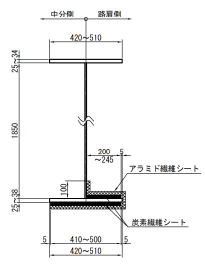
36 ／ 38

迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その15） S=1:125

P3～A2 G8



断面図 S=1:25

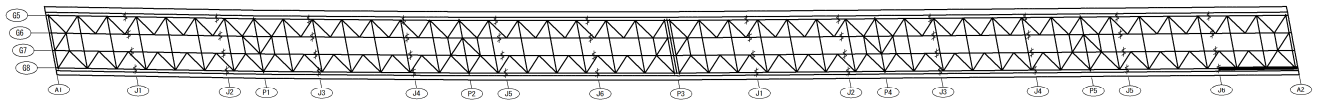


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.343	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.639	－	0.686	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	5.254	3.639	－	0.686	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.639	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.639	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.556	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.639)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.028)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.343	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.343	－	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



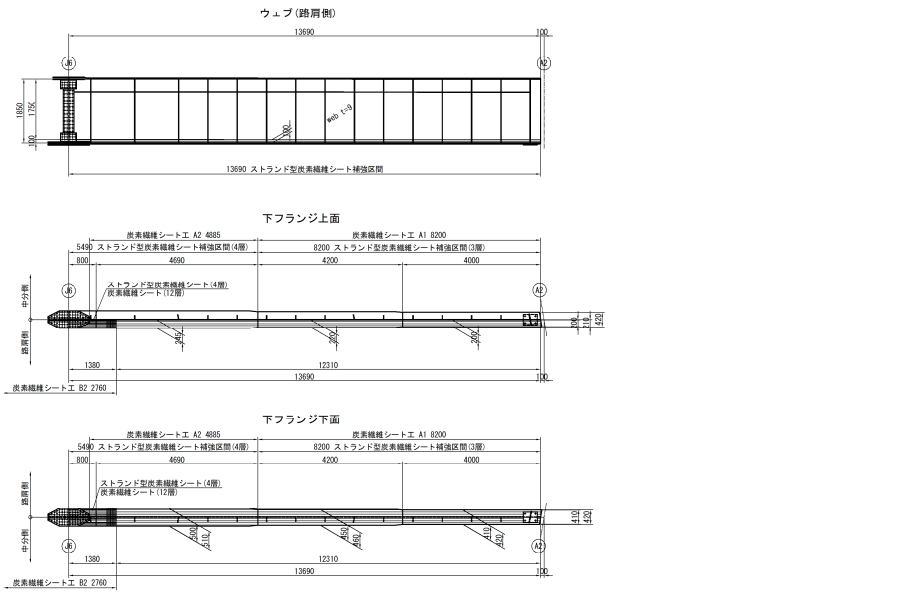
東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その15)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

正

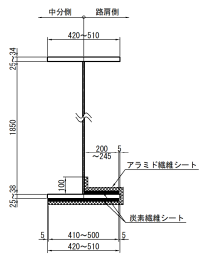
36 ／ 38

迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その15） S=1:125

P3～A2 G8



断面図 S=1:25

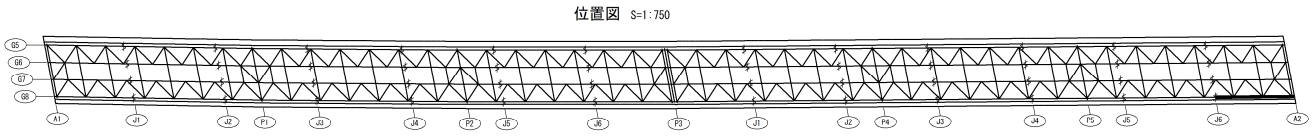


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.343	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.639	－	0.686	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	5.254	3.639	－	0.686	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.639	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.639	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.556	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.639)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.028)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.343	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.343	－	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750

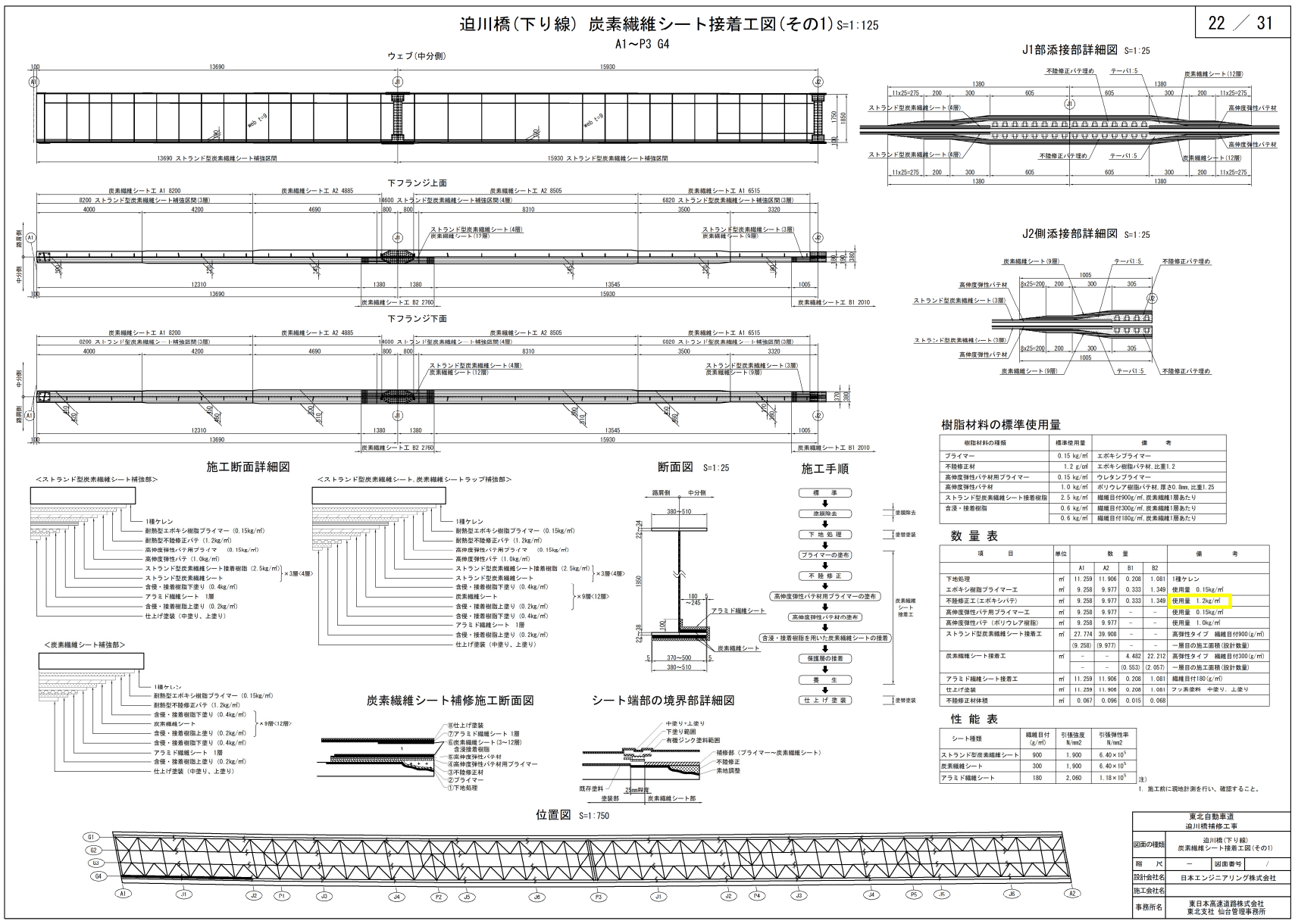


東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その15)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

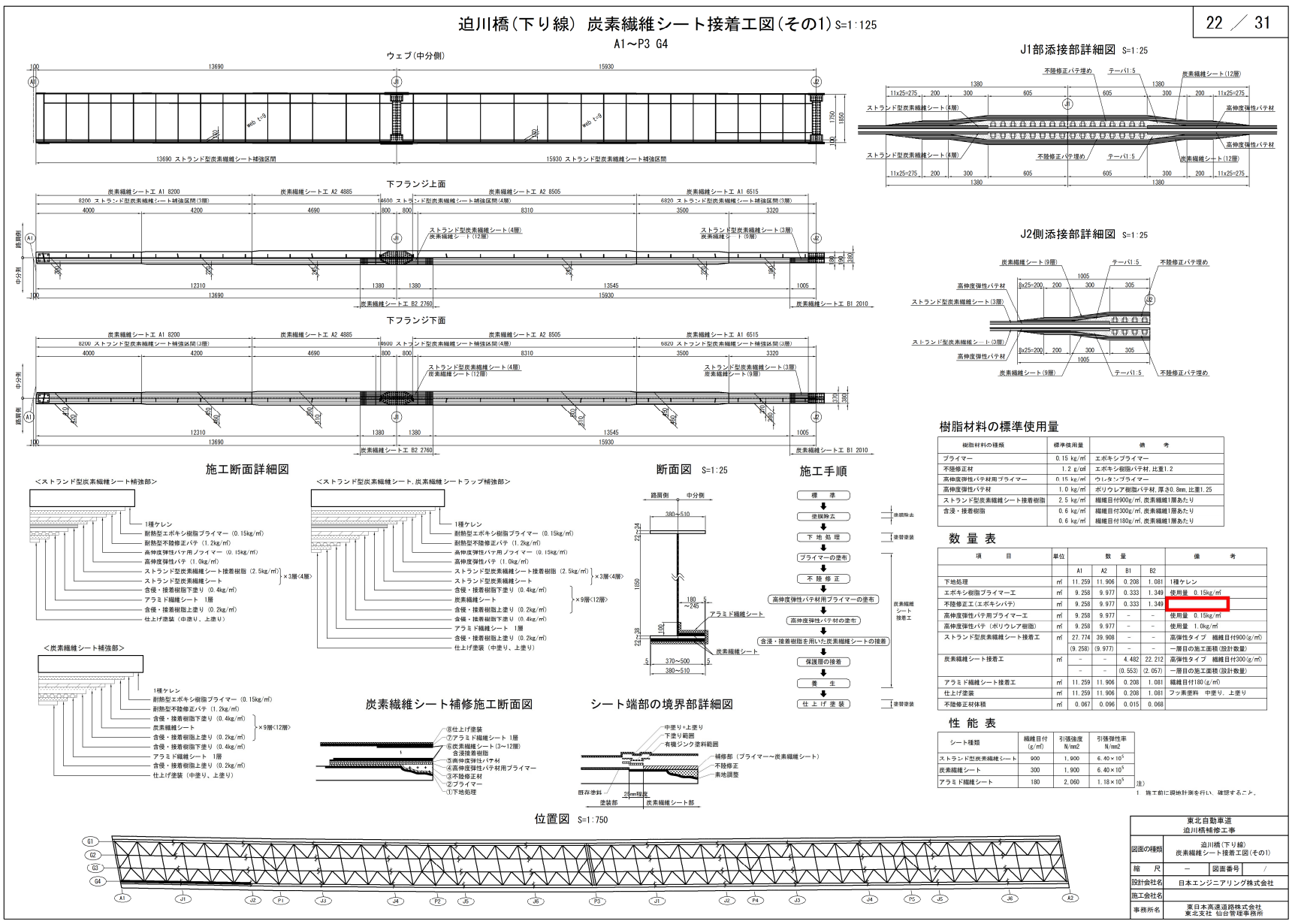
正誤表（１６／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 迫川橋 （下り線） ２２／３１	



正



正誤表（１７／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

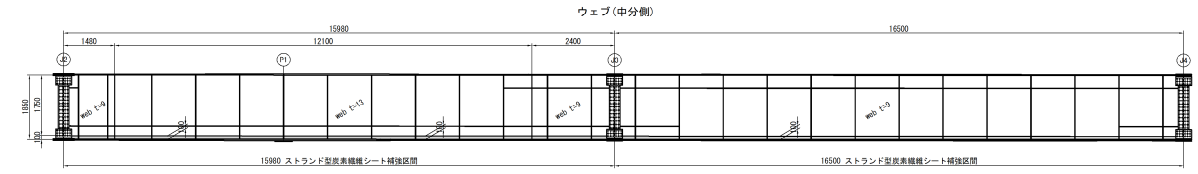
対象	誤
設計図 迫川橋 （下り線） ２３／３１	

23 ／ 31

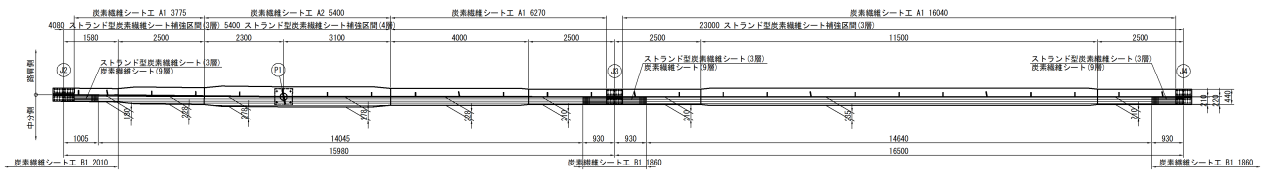
迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その2) S=1:125

A1～P3 G4

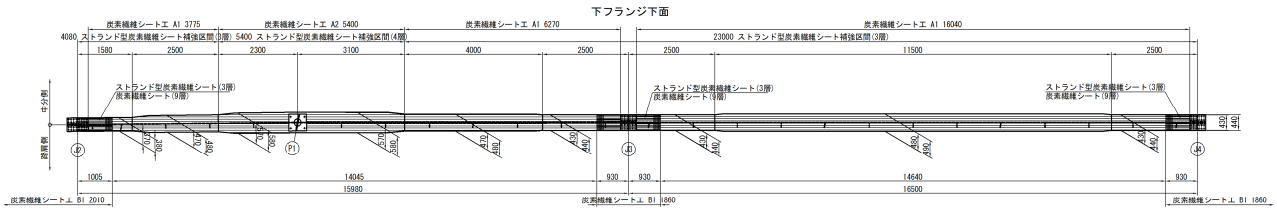
ウェブ(中分側)



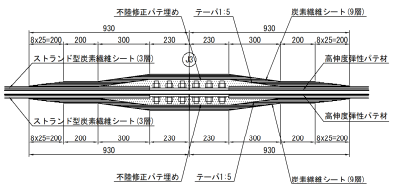
下フランジ上面



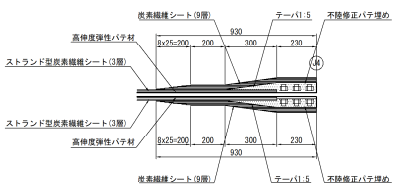
下フランジ下面



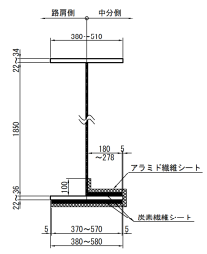
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

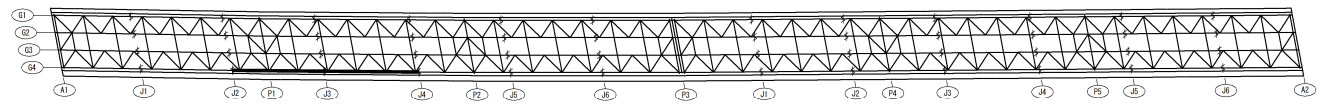


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	21.391	5.367	0.744	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	17.821	4.579	1.352	－	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	17.821	4.579	1.352	－	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	17.821	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.821	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	53.463	18.316	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(17.821)	(4.579)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.833	－	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(2.340)	－	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	21.391	5.367	0.744	－	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	21.391	5.367	0.744	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.134	0.046	0.585	－	

注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その2)		
縮　尺	―	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

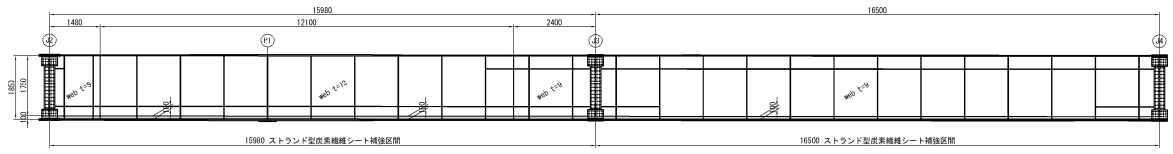
正

23 ／ 31

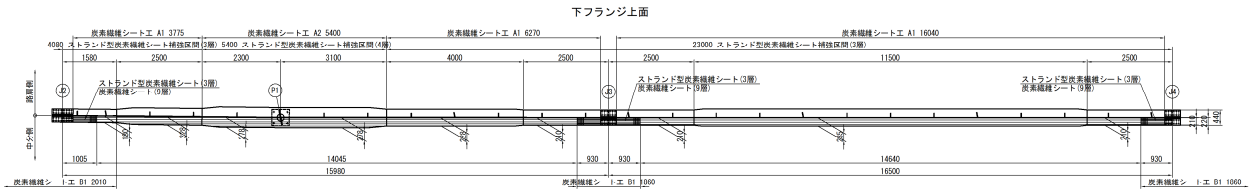
迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その2) S=1:125

A1～P3 G4

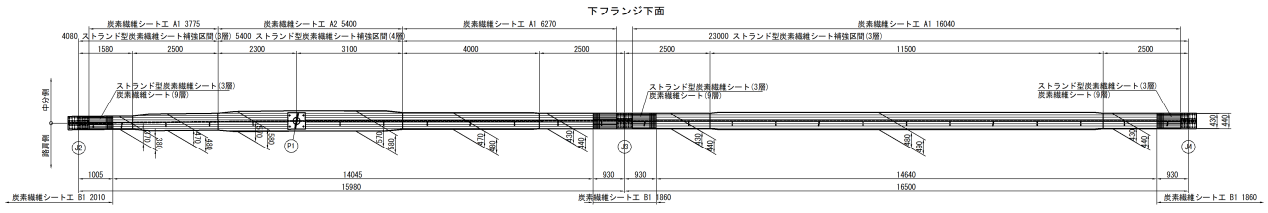
ウェブ(中分側)



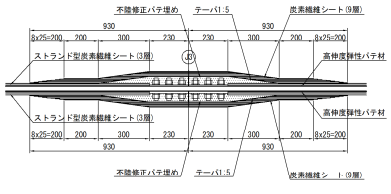
下フランジ上面



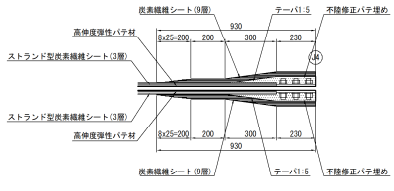
下フランジ下面



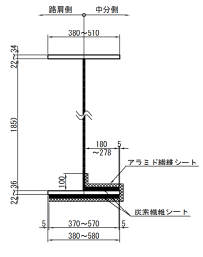
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

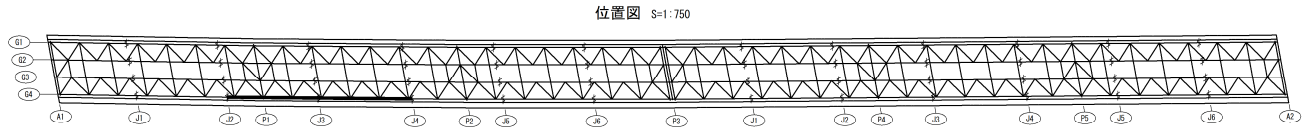


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	21.391	5.367	0.744	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	17.821	4.579	1.352	－	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	17.821	4.579	1.352	－	
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	17.821	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.821	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	53.463	18.316	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(17.821)	(4.579)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.833	－	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(2.340)	－	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	21.391	5.367	0.744	－	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	21.391	5.367	0.744	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.134	0.046	0.059	－	

注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

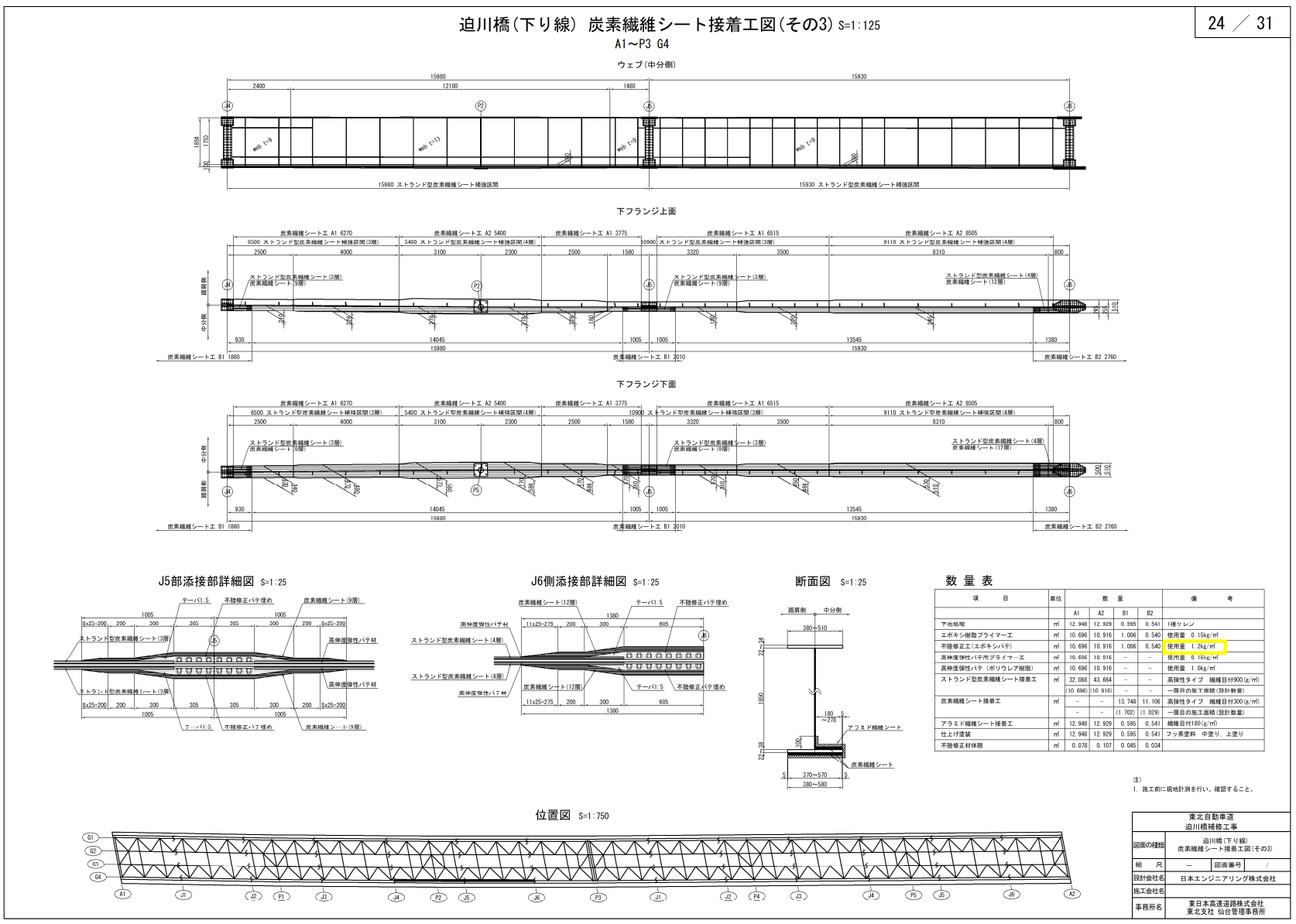
位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その2)		
縮　尺	―	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 迫川橋 （下り線） ２４／３１	



正

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

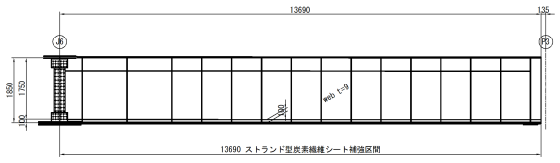
対象	誤
設計図 迫川橋 （下り線） ２５／３１	

25 ／ 31

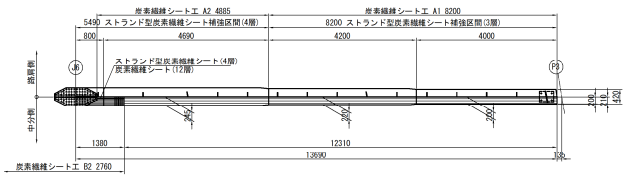
迫川橋（下り線） 炭素繊維シート接着工図（その4） S=1:125

A1～P3 G4

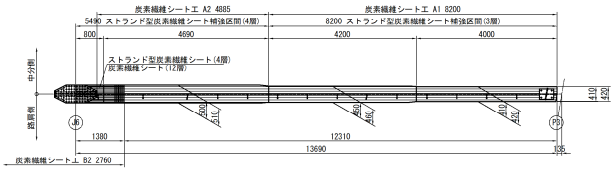
ウェブ（中分側）



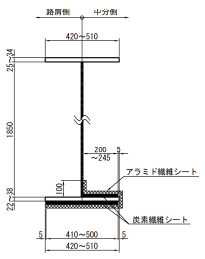
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25

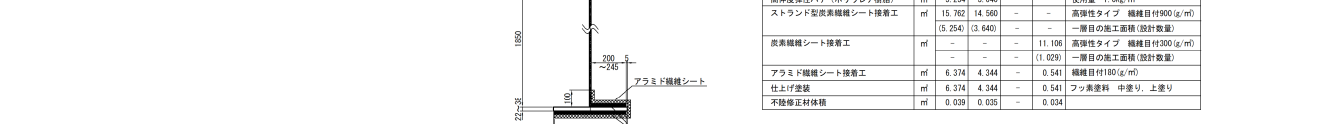


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.344	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	0.675	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工（エポキシパテ）	㎡	5.254	3.640	－	0.675	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.560	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.640)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.344	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.344	－	0.541	フッ素塗料　中塗り、上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋塗替塗装工事			
図面の種類	迫川橋（下り線） 炭素繊維シート接着工図（その4）		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

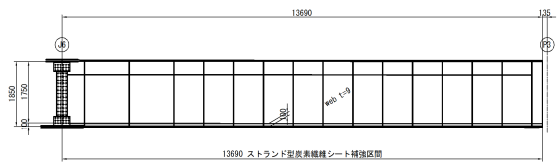
正

25 ／ 31

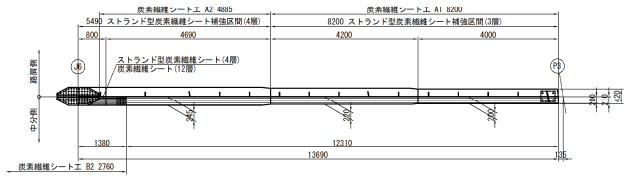
迫川橋（下り線） 炭素繊維シート接着工図（その4） S=1:125

A1～P3 G4

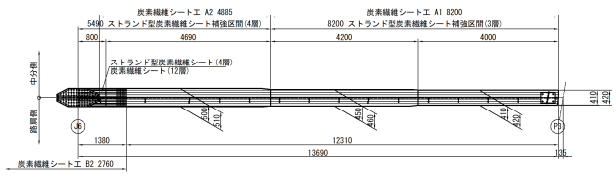
ウェブ（中分側）



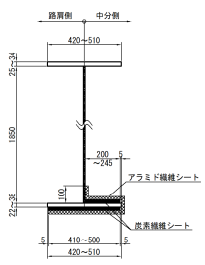
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25

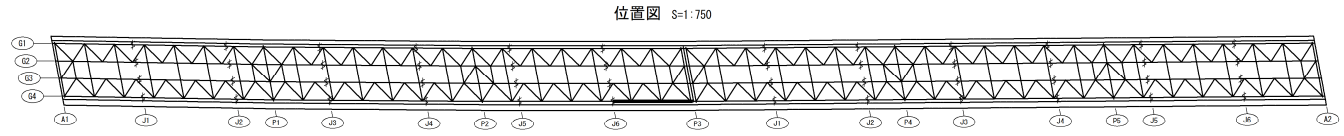


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	6.374	4.344	－	0.541	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	0.675	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工（エポキシパテ）	㎡	5.254	3.640	－	0.675	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.560	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.640)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.344	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.344	－	0.541	フッ素塗料　中塗り、上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋塗替塗装工事			
図面の種類	迫川橋（下り線） 炭素繊維シート接着工図（その4）		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

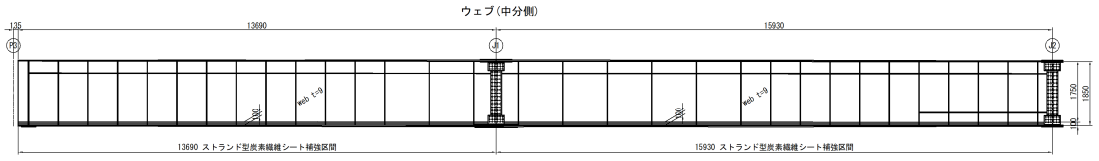
対象	誤
設計図 迫川橋 （下り線） ２６／３１	

26 ／ 31

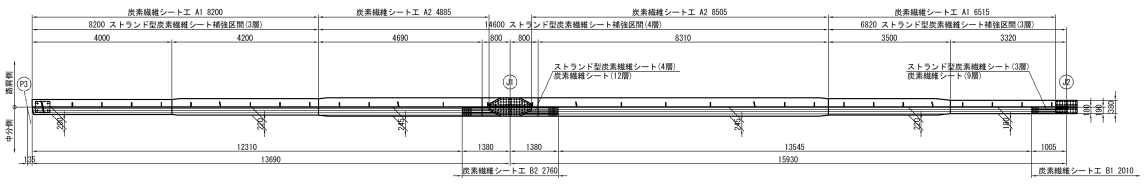
迫川橋（下り線） 炭素繊維シート接着工図（その5） S=1:125

P3～A2 G4

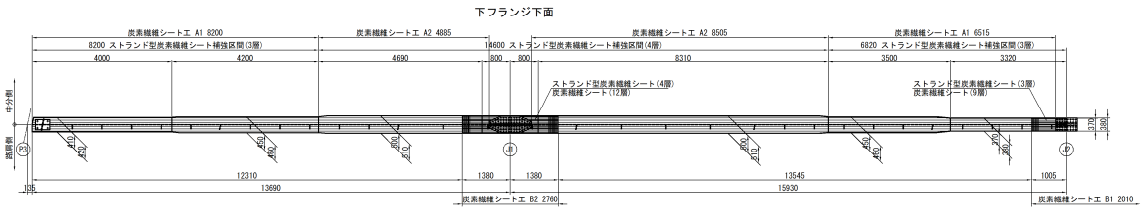
ウェブ（中分側）



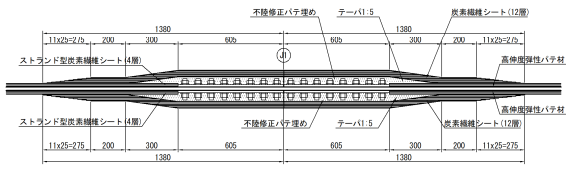
下フランジ上面



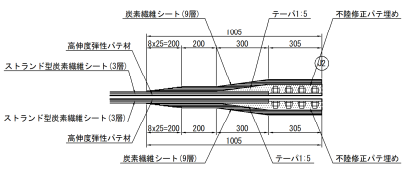
下フランジ下面



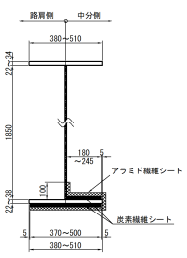
J1部添接部詳細図 S=1:25



J2側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

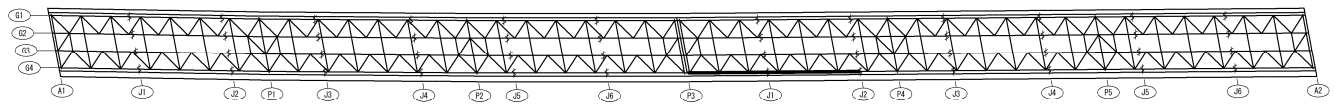


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	9.258	9.977	0.333	1.349	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	9.258	9.977	0.333	1.349	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	9.258	9.977	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	9.258	9.977	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	27.774	39.908	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(9.258)	(9.977)			一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	4.482	22.212	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(0.553)	(2.057)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.067	0.096	0.015	0.068	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その5)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

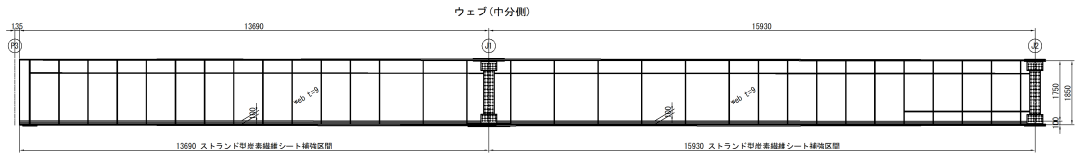
正

26 ／ 31

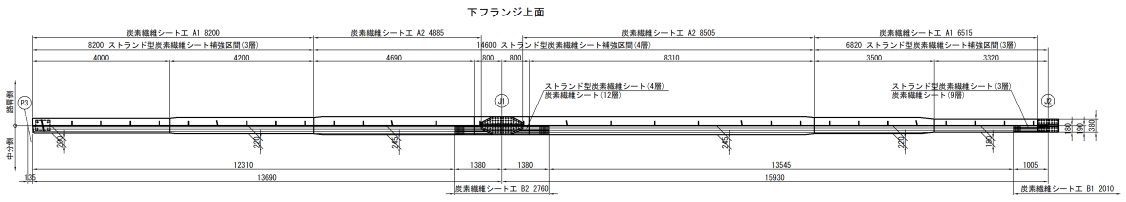
迫川橋（下り線） 炭素繊維シート接着工図（その5） S=1:125

P3～A2 G4

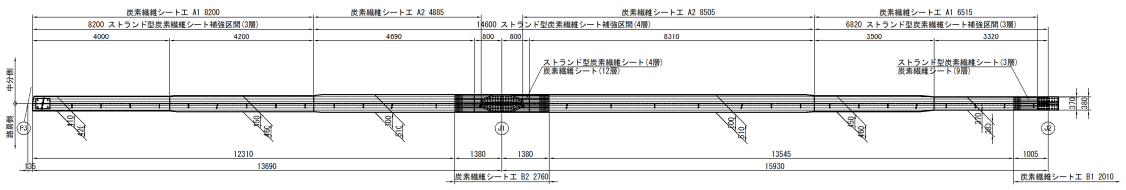
ウェブ（中分側）



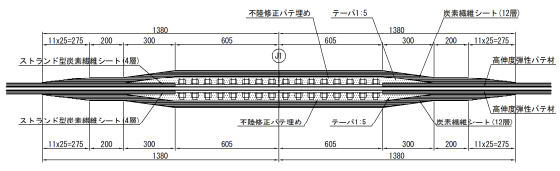
下フランジ上面



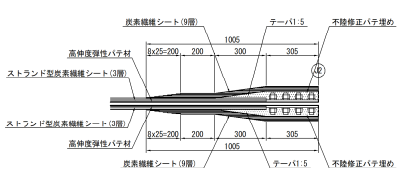
下フランジ下面



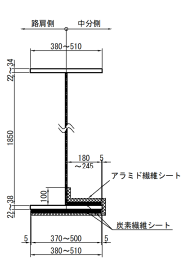
J1部添接部詳細図 S=1:25



J2側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

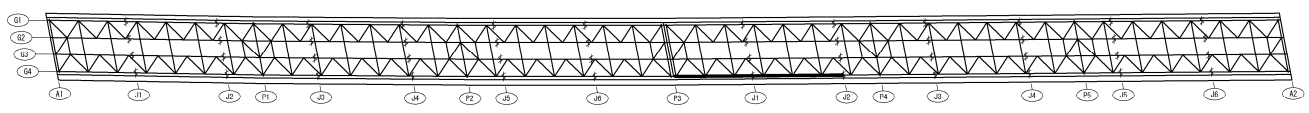


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	9.258	9.977	0.333	1.349	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	9.258	9.977	0.333	1.349	
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	9.258	9.977	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	9.258	9.977	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	27.774	39.908	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(9.258)	(9.977)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	4.482	22.212	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(0.553)	(2.057)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	11.259	11.906	0.208	1.081	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.067	0.096	0.015	0.068	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その5)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

正誤表（２１／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

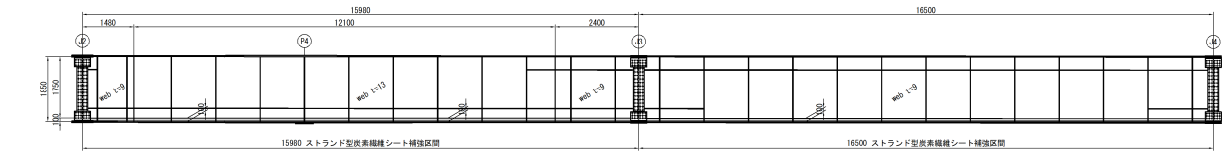
対象	誤
設計図 迫川橋 （下り線） ２７／３１	

27 ／ 31

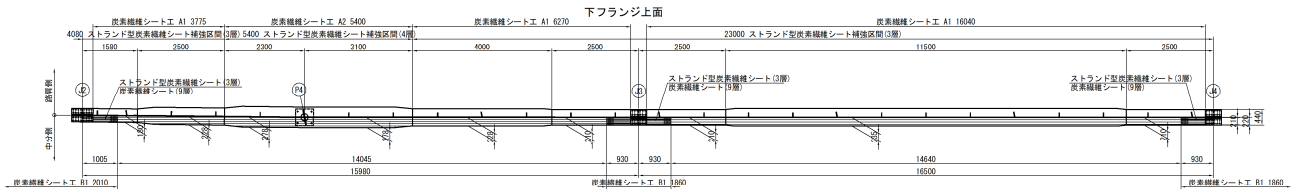
迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その6) S=1:125

P3～A2 G4

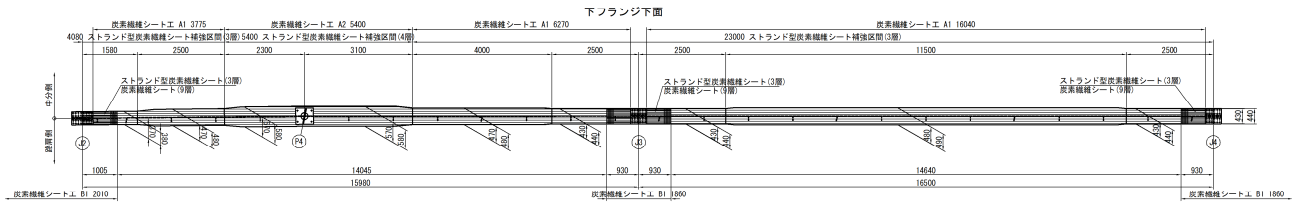
ウェブ(中分側)



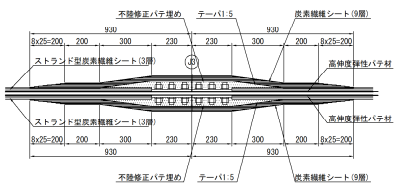
下フランジ上面



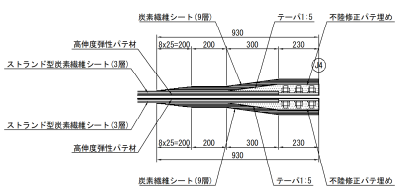
下フランジ下面



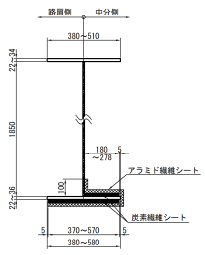
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

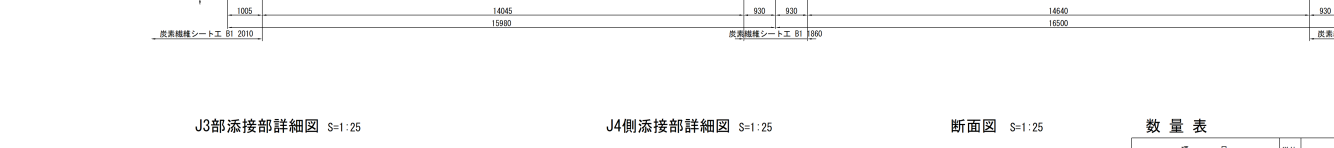


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	21.391	5.367	0.744	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	17.821	4.579	1.352	－	使用量　0.15kg/㎡
下陸修正工(エポキシパテ)	㎡	17.821	4.579	1.352	－	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	17.821	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.821	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	53.463	18.316	－	－	高強性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(17.821)	(4.579)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.833	－	高強性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(2.340)	－	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	21.391	5.367	0.744	－	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	21.391	5.367	0.744	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.134	0.046	0.585	－	

注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その6)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

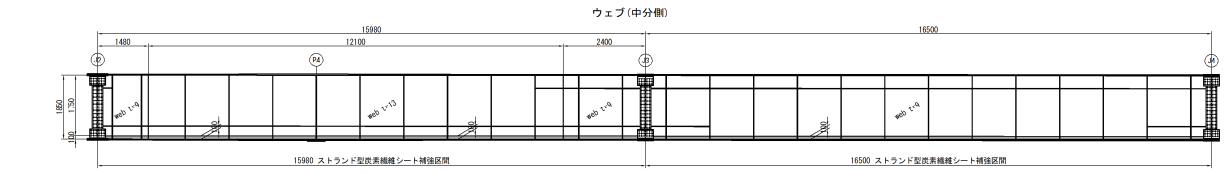
正

27 ／ 31

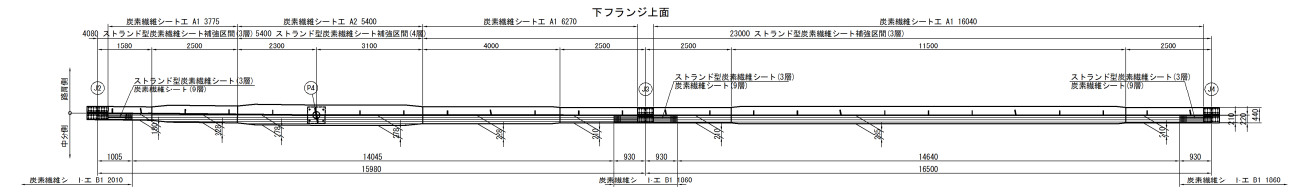
迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その6) S=1:125

P3～A2 G4

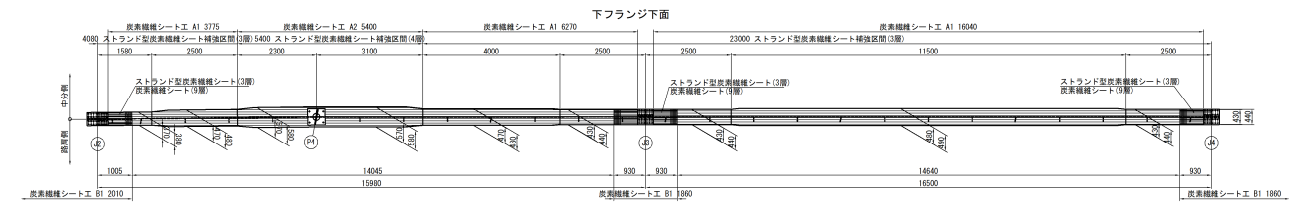
ウェブ(中分側)



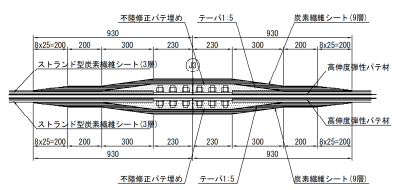
下フランジ上面



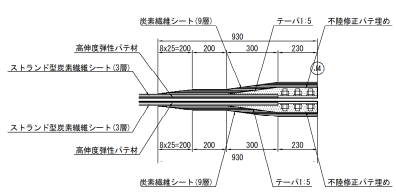
下フランジ下面



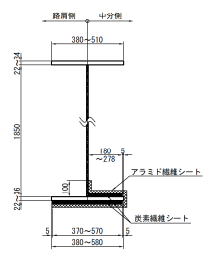
J3部添接部詳細図 S=1:25



J4側添接部詳細図 S=1:25



断面図 S=1:25

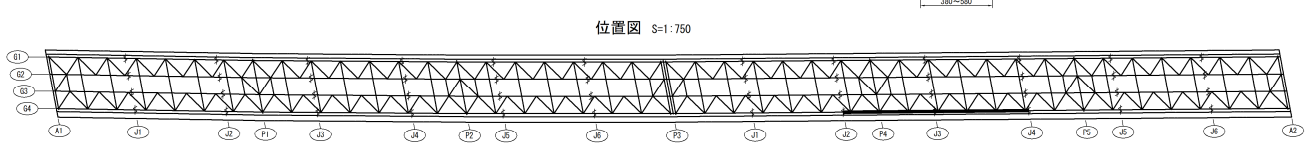


数 量 表

項　目	単位	数　量				備　考
		A1	A2	B1	B2	
下地処理	㎡	21.391	5.367	0.744	－	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	17.821	4.579	1.352	－	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	17.821	4.579	1.352	－	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	17.821	4.579	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	17.821	4.579	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	53.463	18.316	－	－	高強性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(17.821)	(4.579)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	18.833	－	高強性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	(2.340)	－	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	21.391	5.367	0.744	－	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	21.391	5.367	0.744	－	フッ素塗料　中塗り，上塗り
下陸修正材体積	㎥	0.124	0.046	0.060	－	

注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

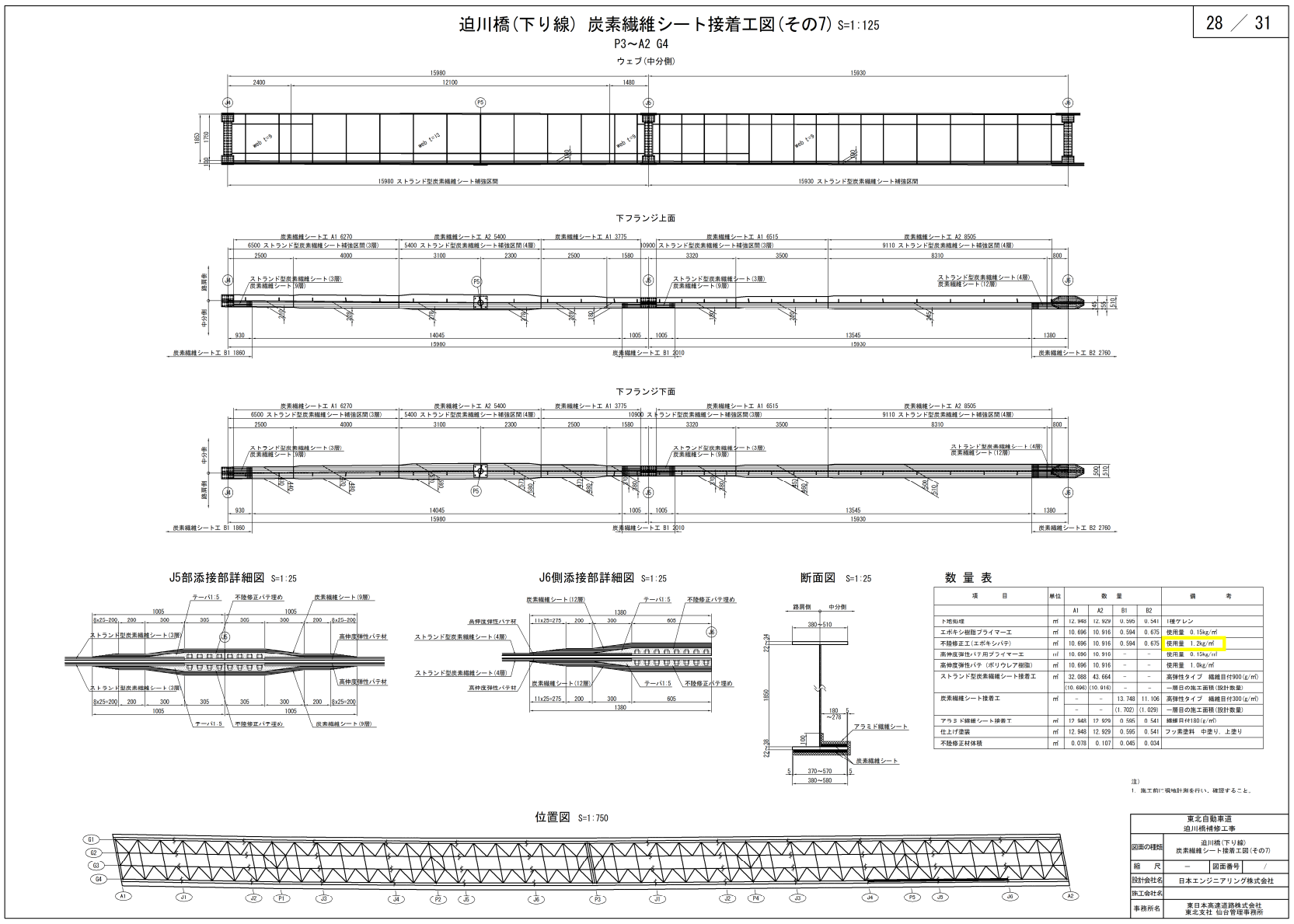
位置図 S=1:750



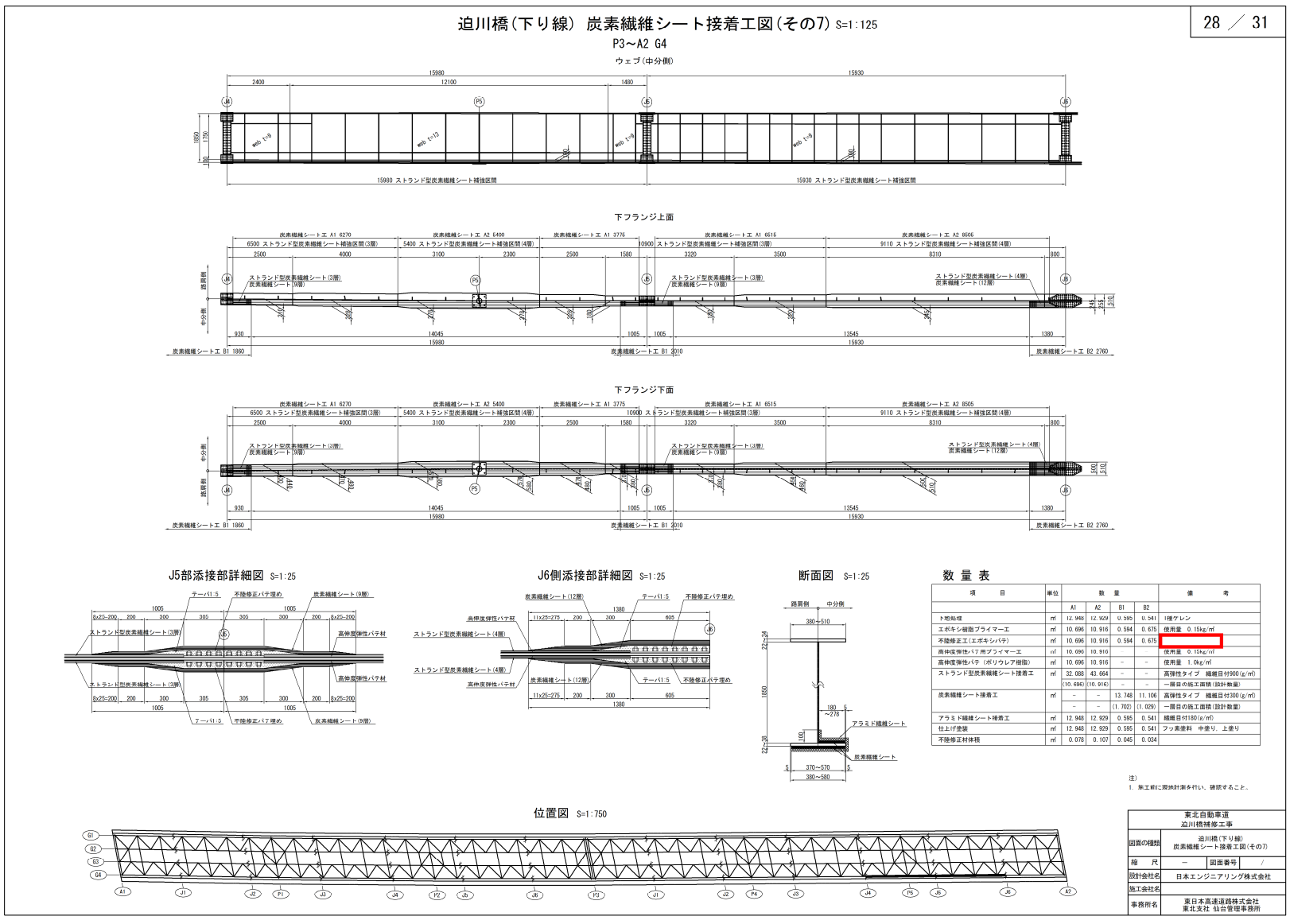
東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その6)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

正誤表（２２／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 迫川橋 （下り線） ２８／３１	

正



正誤表（２３／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

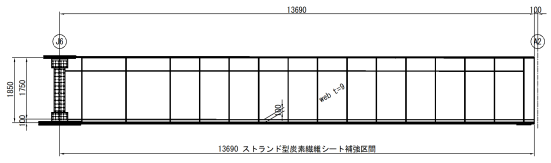
対象	誤
設計図 迫川橋 （下り線） ２９／３１	

29 ／ 31

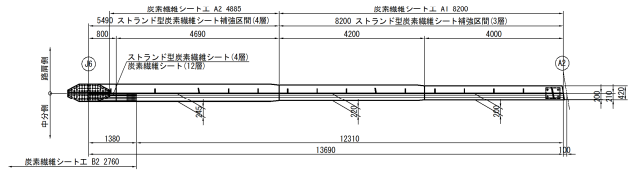
迫川橋（下り線） 炭素繊維シート接着工図（その8）S=1:125

P3～A2 G4

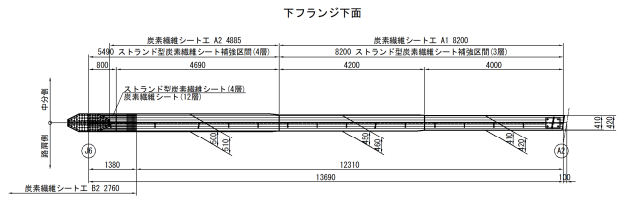
ウェブ（中分側）



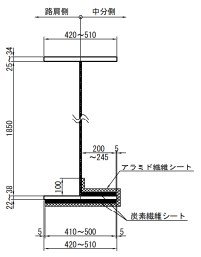
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25

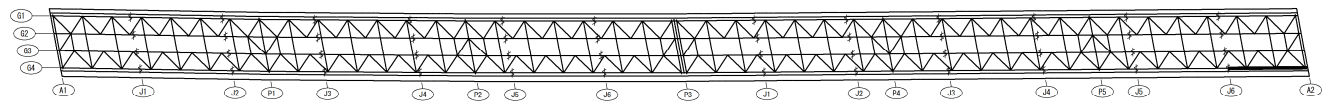


数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
ド地処理	㎡	6.374	4.344	－	0.541	I種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	0.657	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	5.254	3.640	－	0.657	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.640			使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.557	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.640)	－		一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.344	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.344	－	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎡	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1．施工前に現地計測を行い，確認すること。

位置図 S=1:750



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その8)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

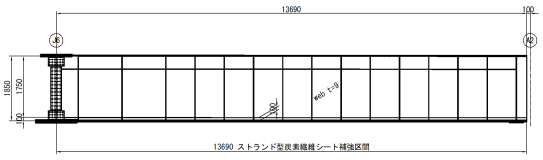
正

29 ／ 31

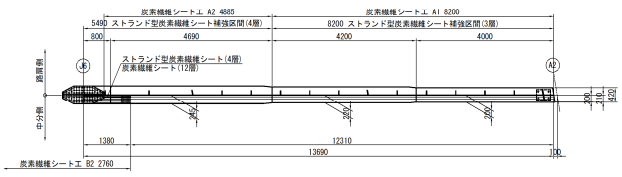
迫川橋（下り線） 炭素繊維シート接着工図（その8）S=1:125

P3～A2 G4

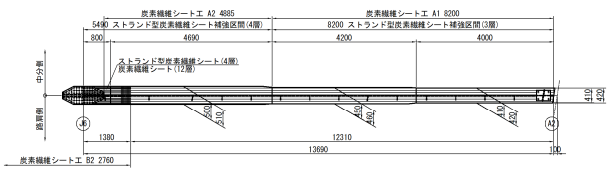
ウェブ（中分側）



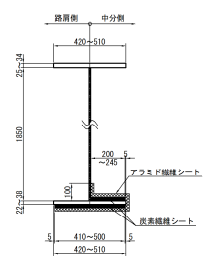
下フランジ上面



下フランジ下面



断面図 S=1:25

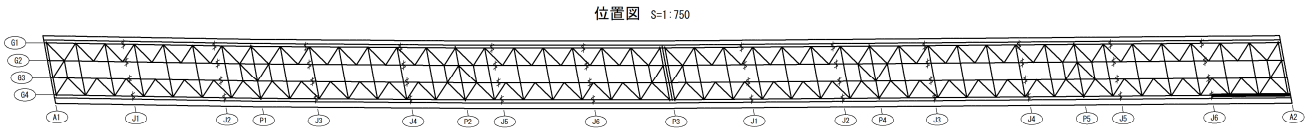


数 量 表

項　　目	単位	数　量				備　　考
		A1	A2	B1	B2	
ド地処理	㎡	6.374	4.344	－	0.541	I種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	5.254	3.640	－	0.657	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	5.254	3.640	－	0.657	[redacted]
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	5.254	3.640			使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	5.254	3.640	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	15.762	14.557	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(5.254)	(3.640)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	11.106	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	(1.029)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	6.374	4.344	－	0.541	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	6.374	4.344	－	0.541	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎡	0.039	0.035	－	0.034	

注）
1．施工前に現地計測を行い，確認すること。

位置図 S=1:750

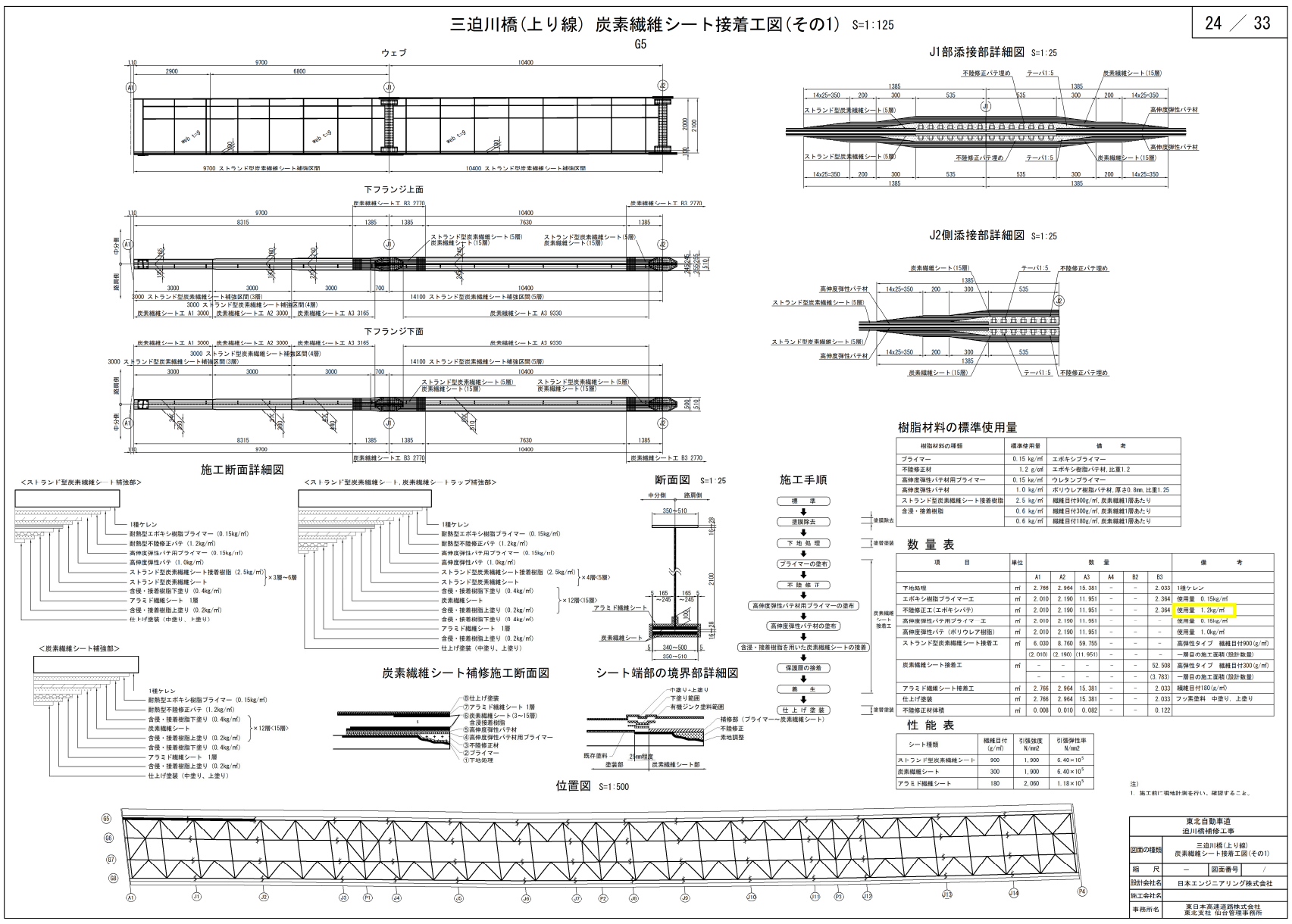


東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	迫川橋(下り線) 炭素繊維シート接着工図(その8)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

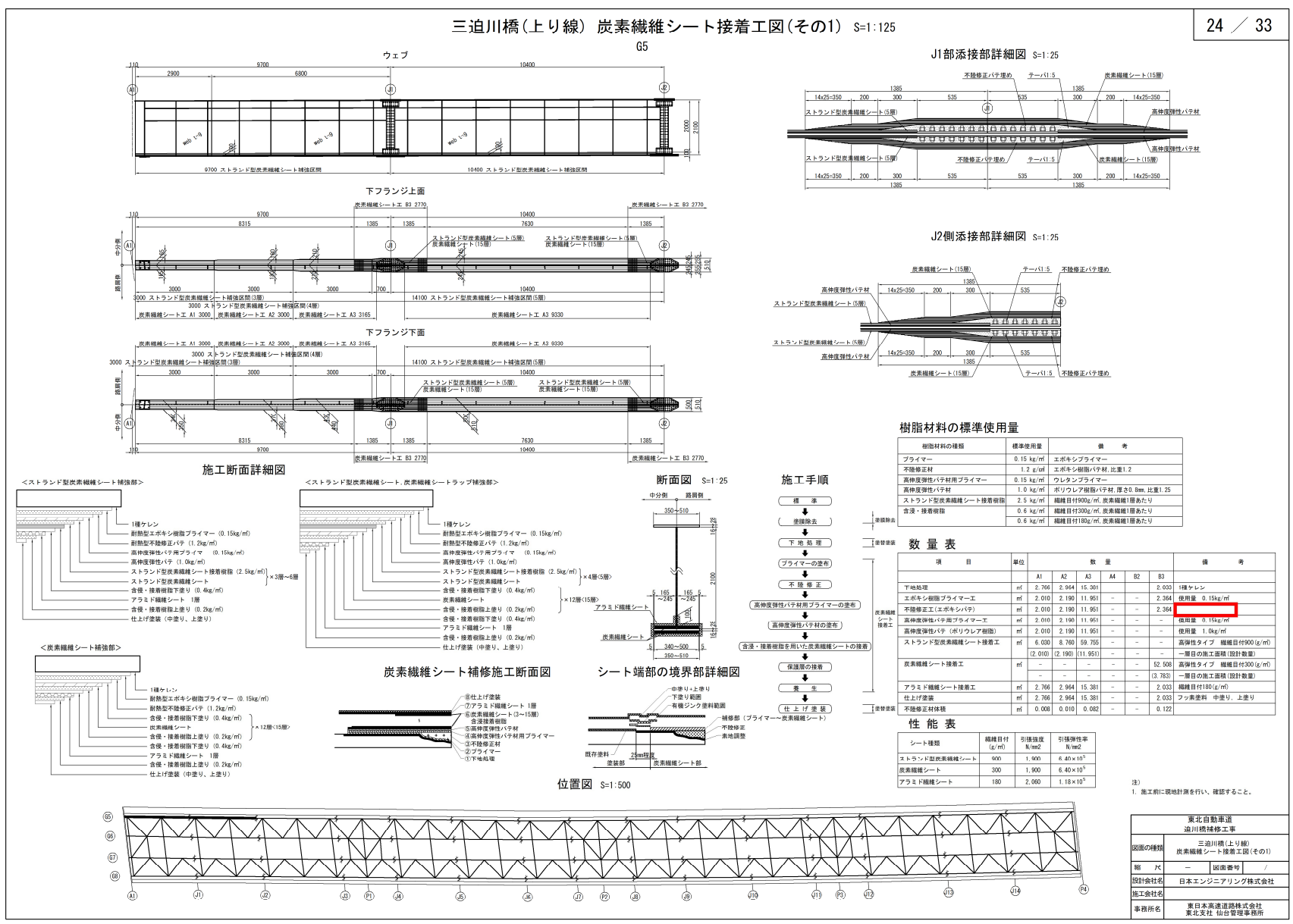
正誤表（２４／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 三迫川橋 （上り線） ２４／３３	



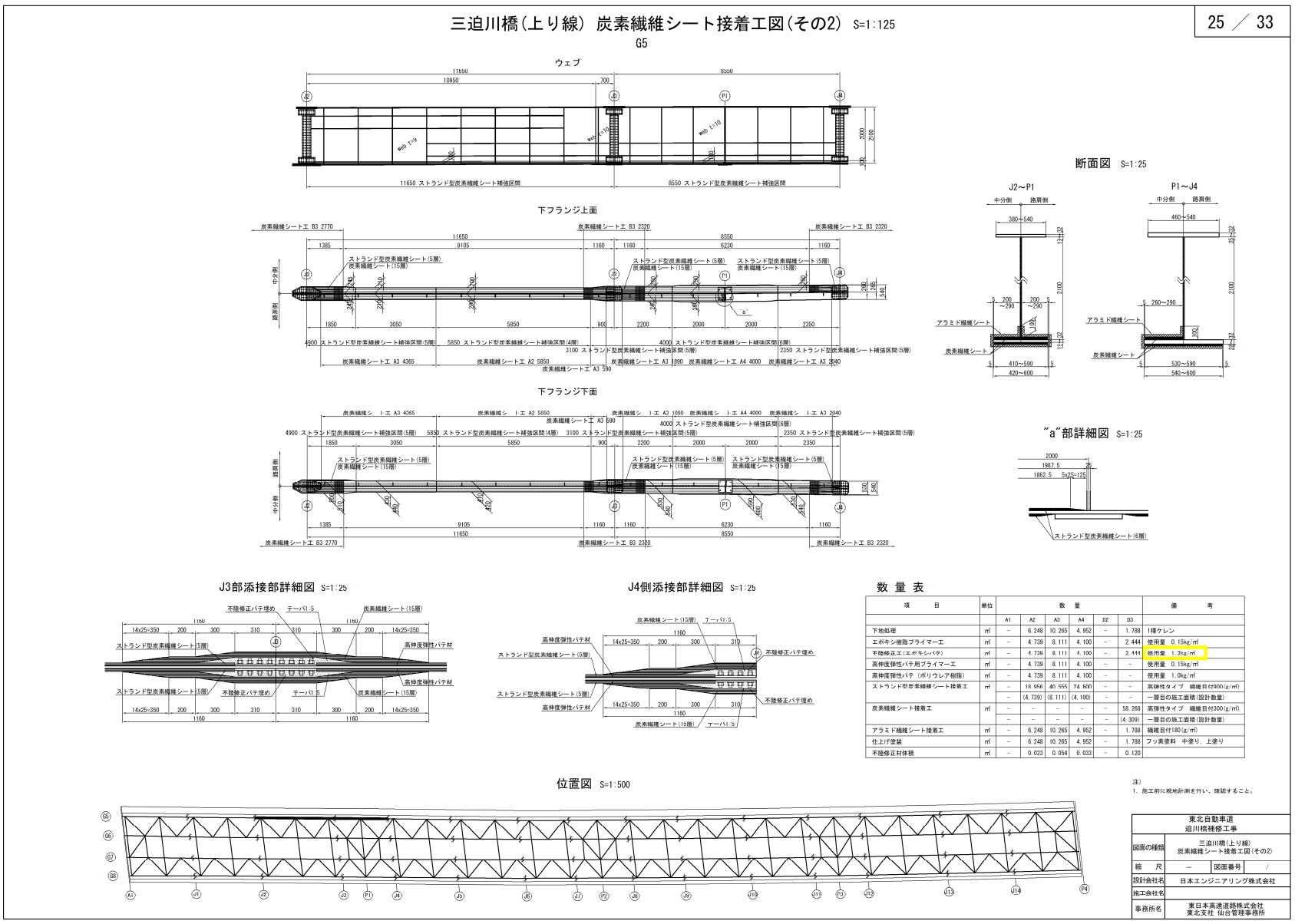
正



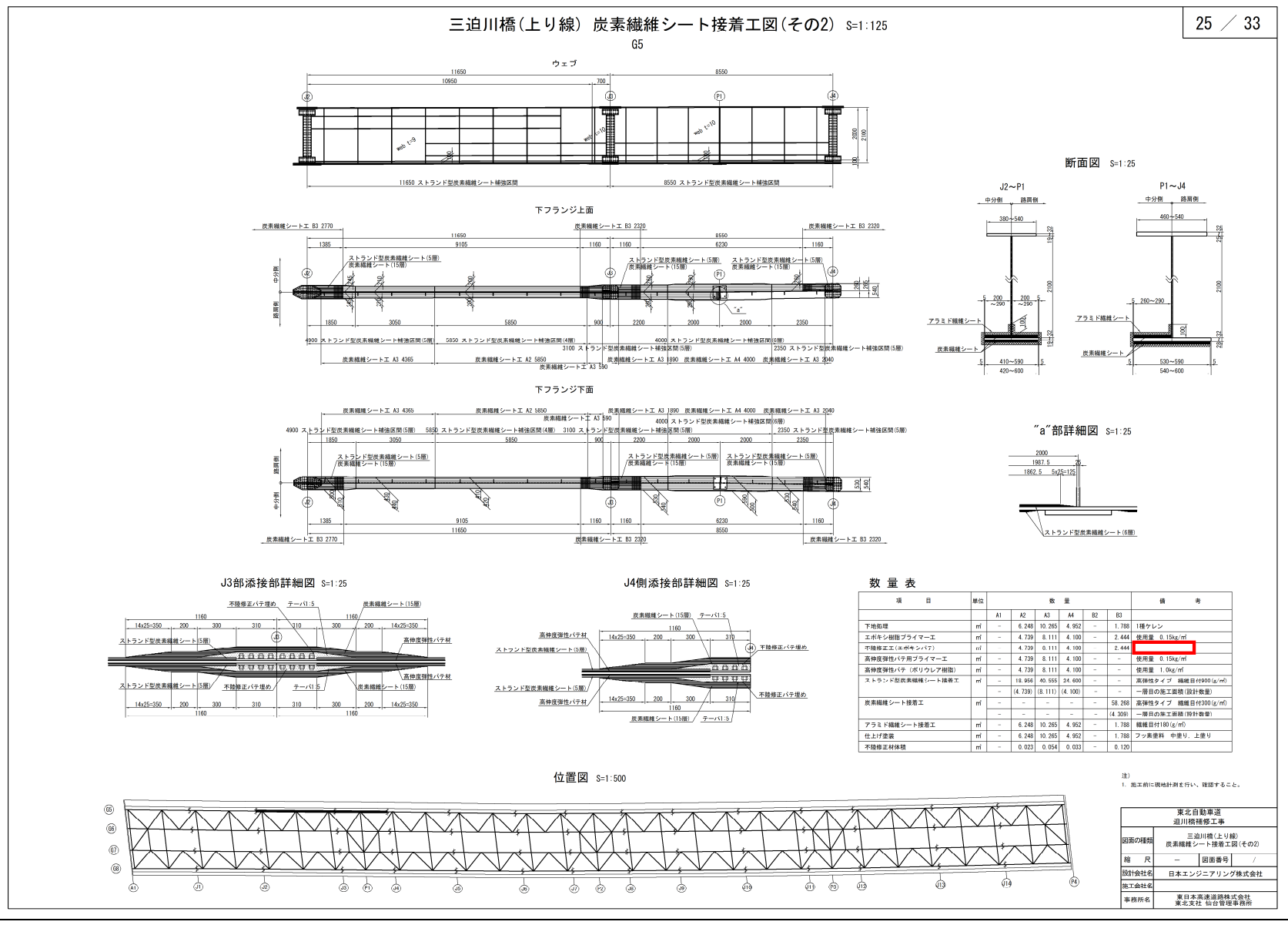
正誤表（２５／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 三迫川橋 （上り線） ２５／３３	



正



正誤表（２６／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

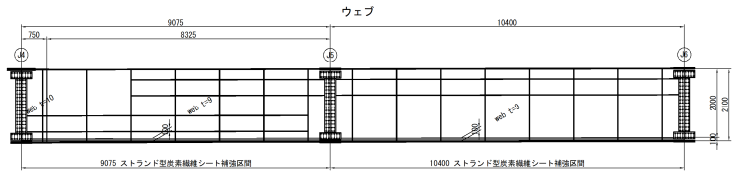
対象	誤
設計図 三迫川橋 （上り線） ２６／３３	

26 ／ 33

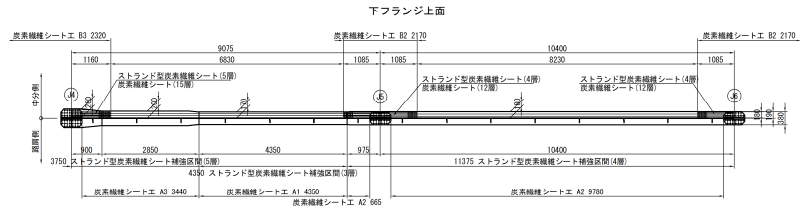
三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その3) S=1:125

G5

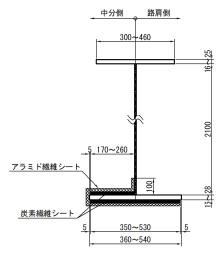
ウェブ



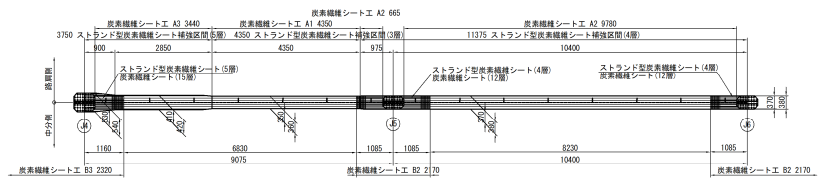
下フランジ上面



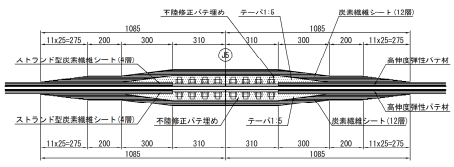
断面図 S=1:25



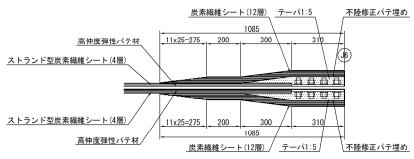
下フランジ下面



J5部添接部詳細図 S=1:25



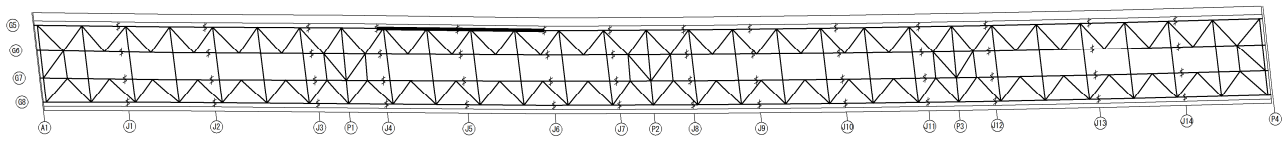
J6側添接部詳細図 S=1:25



数 量 表

項　　目	単位	数　量						備　　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	2.810	7.092	2.670	－	0.632	0.288	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー　工	㎡	2.263	5.745	2.205		0.998	0.482	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	2.263	5.745	2.205	－	0.998	0.482	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	2.263	5.745	2.205	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	2.263	5.745	2.205	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	6.789	22.979	11.025	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(2.263)	(5.745)	(2.205)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	18.534	11.685	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	(1.769)	(0.917)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	2.810	7.092	2.670	－	0.632	0.288	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	2.810	7.092	2.670	－	0.632	0.288	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.009	0.028	0.014	－	0.035	0.022	

位置図 S=1:500



注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その3)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

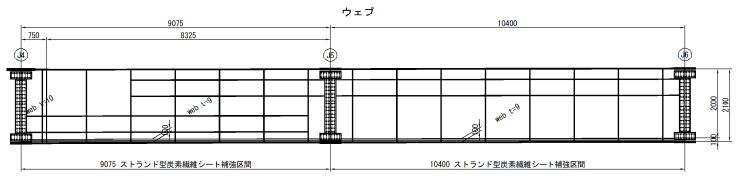
正

26 ／ 33

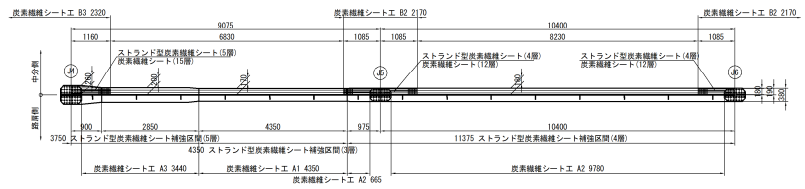
三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その3) S=1:125

G5

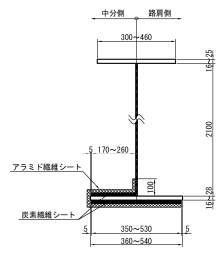
ウェブ



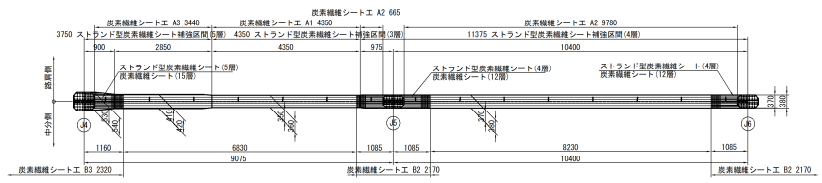
下フランジ上面



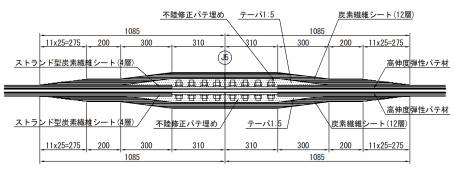
断面図 S=1:25



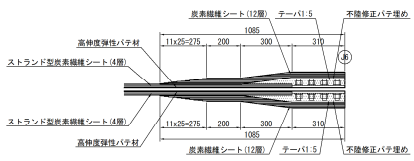
下フランジ下面



J5部添接部詳細図 S=1:25



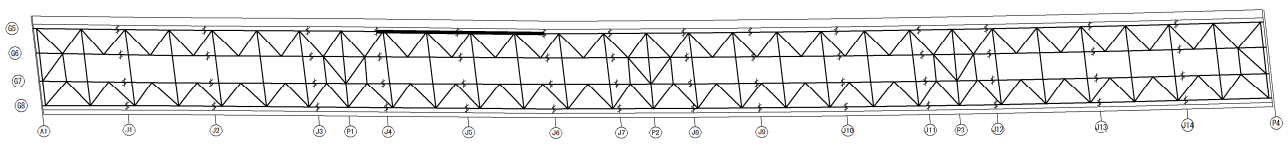
J6側添接部詳細図 S=1:25



数 量 表

項　　目	単位	数　量						備　　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	2.810	7.092	2.670	－	0.632	0.288	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	2.263	5.745	2.205	－	0.998	0.482	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	2.263	5.745	2.205	－	0.998	0.482	[redacted]
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	2.263	5.745	2.205	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	2.263	5.745	2.205	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	6.789	22.979	11.025	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(2.263)	(5.745)	(2.205)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	18.534	11.685	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	(1.769)	(0.917)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	2.810	7.092	2.670	－	0.632	0.288	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	2.810	7.092	2.670	－	0.632	0.288	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.009	0.028	0.014	－	0.045	0.022	

位置図 S=1:500



注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その3)		
縮　尺	－	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

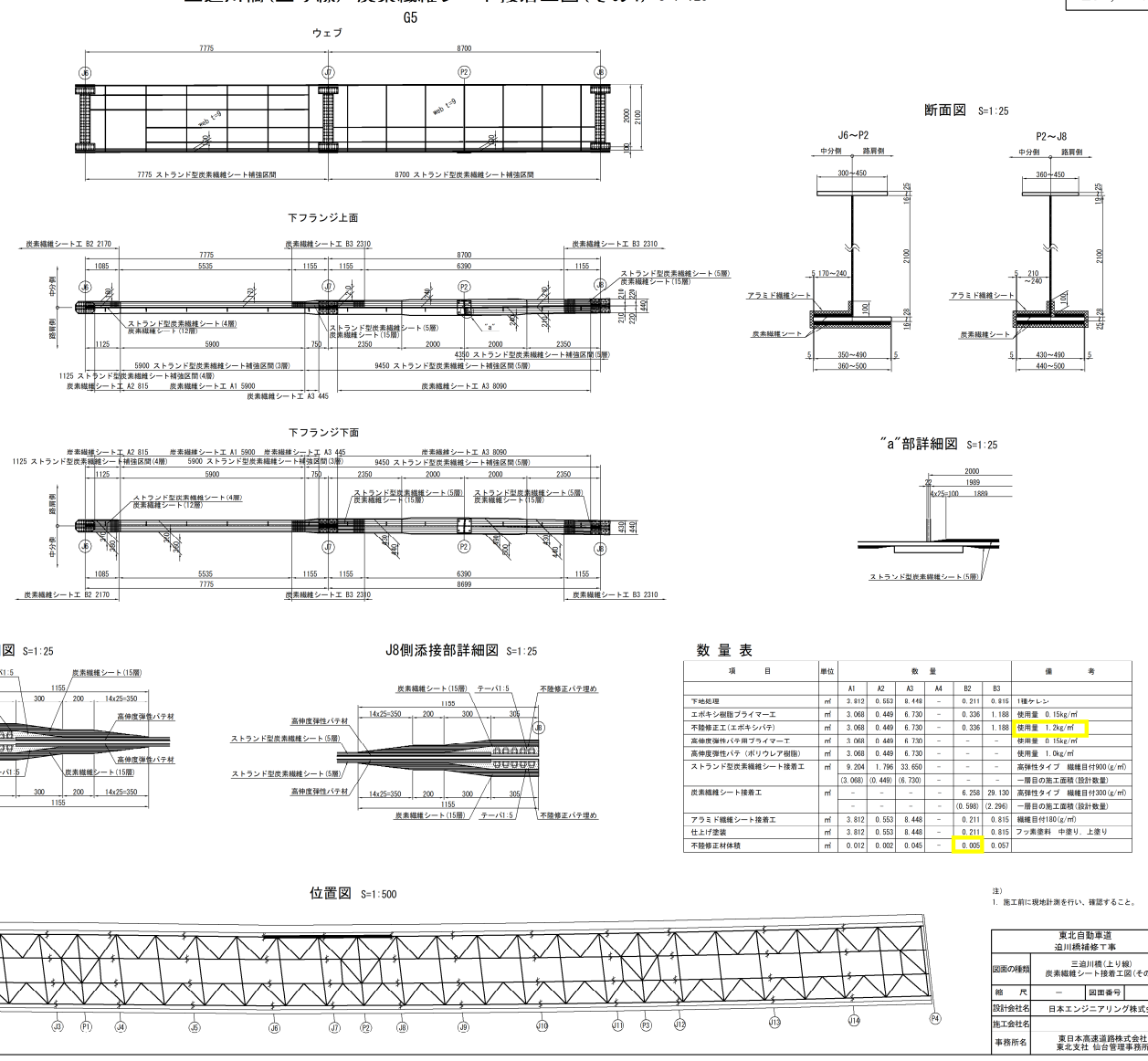
正誤表（２７／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 三迫川橋 （上り線） ２７／３３	

27 ／ 33

三迫川橋（上り線）炭素繊維シート接着工図（その4） S=1:125



数 量 表

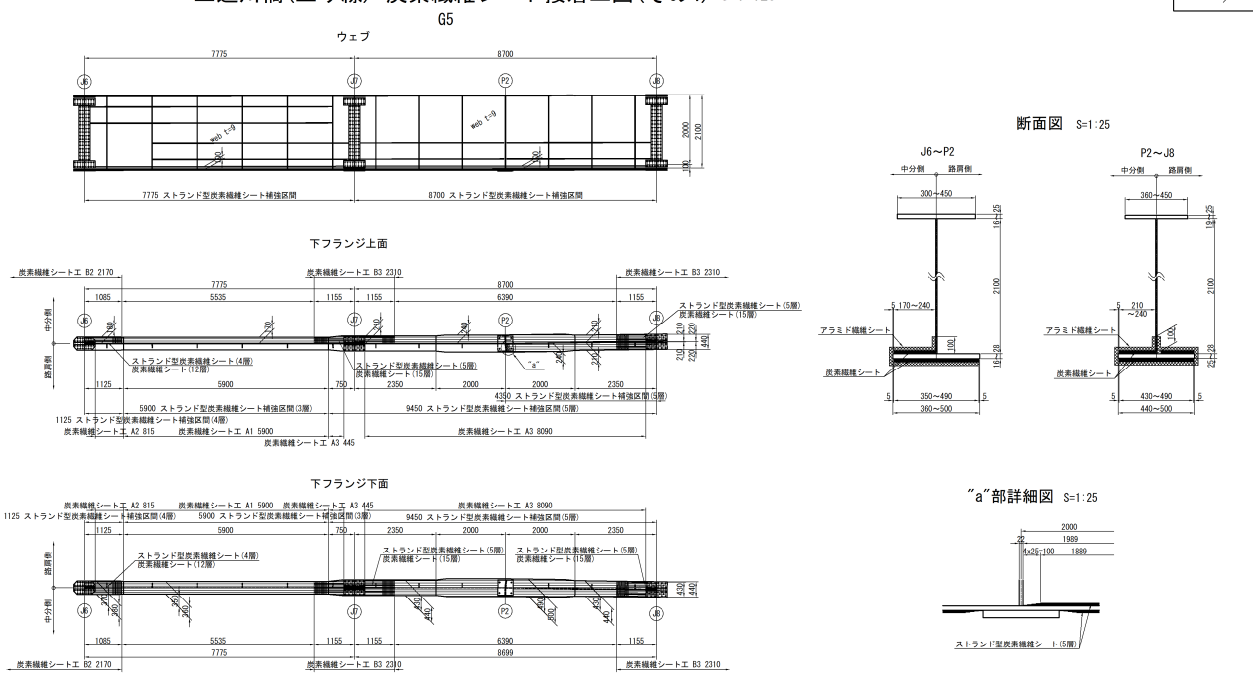
項　目	単位	数　量						備　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	3.812	0.553	8.448	－	0.211	0.815	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	3.068	0.449	6.730	－	0.336	1.188	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	3.068	0.449	6.730	－	0.336	1.188	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	3.068	0.449	6.730	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	3.068	0.449	6.730	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	9.204	1.796	33.650	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(3.068)	(0.449)	(6.730)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	6.258	29.130	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	(0.598)	(2.296)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	3.812	0.553	8.448	－	0.211	0.815	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	3.812	0.553	8.448	－	0.211	0.815	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.012	0.002	0.045	－	0.005	0.057	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

正

27 ／ 33

三迫川橋（上り線）炭素繊維シート接着工図（その4） S=1:125



数 量 表

項　目	単位	数　量						備　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	3.812	0.553	8.448	－	0.211	0.815	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	3.068	0.449	6.730	－	0.336	1.188	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	3.068	0.449	6.730	－	0.336	1.188	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	3.068	0.449	6.730	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	3.068	0.449	6.730	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	9.204	1.796	33.650	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(3.068)	(0.449)	(6.730)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	6.258	29.130	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	(0.598)	(2.296)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	3.812	0.553	8.448	－	0.211	0.815	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	3.812	0.553	8.448	－	0.211	0.815	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.012	0.002	0.045	－	0.015	0.057	

注）
1．施工前に現地計測を行い、確認すること。

正誤表（２８／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

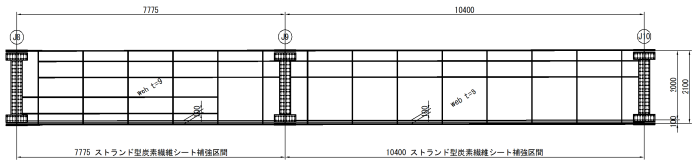
対象	誤
設計図 三迫川橋 （上り線） ２８／３３	

28 ／ 33

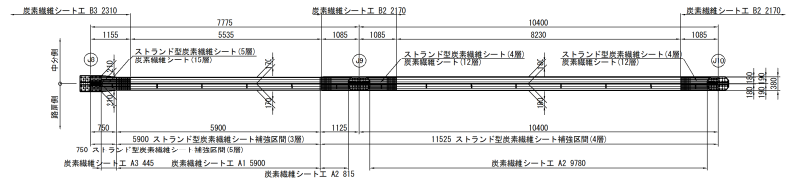
三迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その5） S=1:125

G5

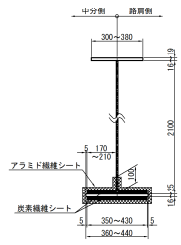
ウェブ



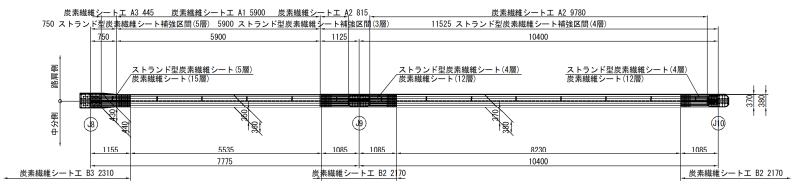
下フランジ上面



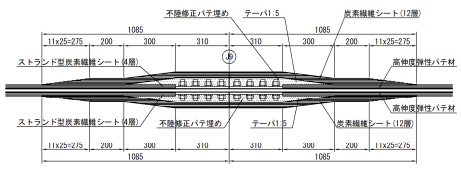
断面図 S=1:25



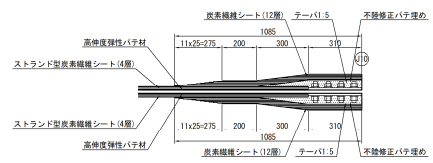
下フランジ下面



J9部添接部詳細図 S=1:25



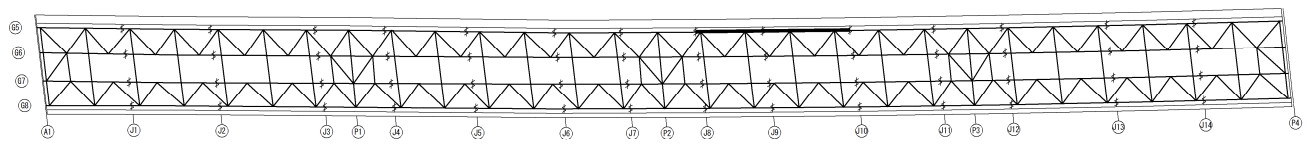
J10側添接部詳細図 S=1:25



数 量 表

項　目	単位	数　量						備　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	5.558	10.469	0.498	－	0.918	0.342	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	4.071	7.735	0.378	－	1.157	0.450	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	4.071	7.735	0.378	－	1.157	0.450	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	4.071	7.735	0.378	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	4.071	7.735	0.378	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	12.213	30.940	1.890	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(4.071)	(7.735)	(0.378)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	22.602	11.535	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	(2.179)	(0.918)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	5.558	10.469	0.498	－	0.918	0.342	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	5.558	10.469	0.498	－	0.918	0.342	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.016	0.037	0.002	－	0.060	0.023	

位置図 S=1:500



注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その5)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

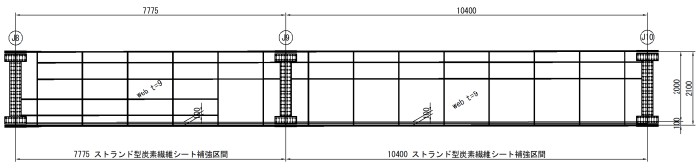
正

28 ／ 33

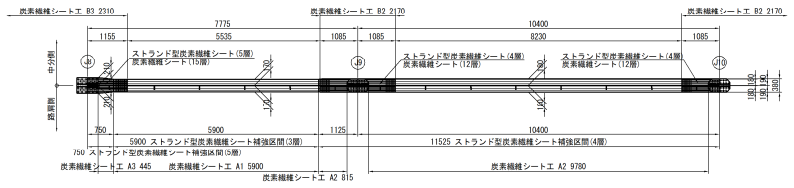
三迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その5） S=1:125

G5

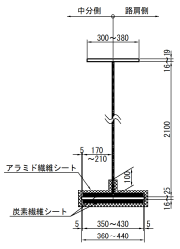
ウェブ



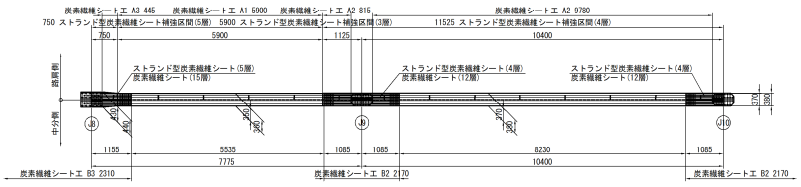
下フランジ上面



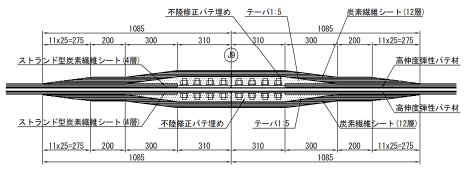
断面図 S=1:25



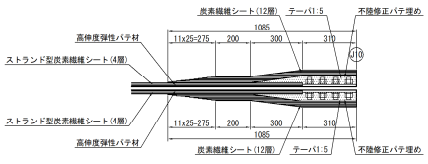
下フランジ下面



J9部添接部詳細図 S=1:25



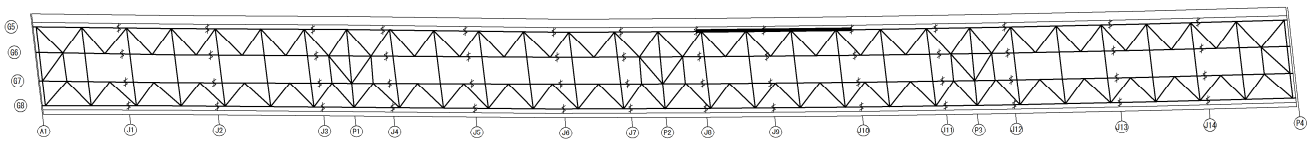
J10側添接部詳細図 S=1:25



数 量 表

項　目	単位	数　量						備　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	5.558	10.469	0.498	－	0.918	0.342	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	4.071	7.735	0.378	－	1.157	0.450	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	4.071	7.735	0.378	－	1.157	0.450	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	4.071	7.735	0.378	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	4.071	7.735	0.378	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	12.213	30.940	1.890	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(4.071)	(7.735)	(0.378)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	22.602	11.535	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	(2.179)	(0.918)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	5.558	10.469	0.498	－	0.918	0.342	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	5.558	10.469	0.498	－	0.918	0.342	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.016	0.037	0.002	－	0.060	0.023	

位置図 S=1:500



注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その5)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

正誤表（２９／３１）

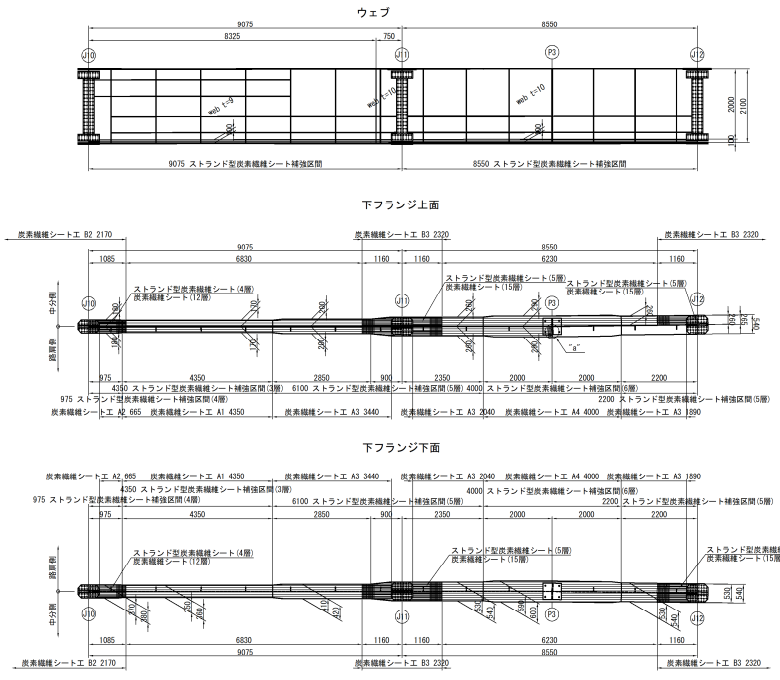
（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

対象	誤
設計図 三迫川橋 （上り線） ２９／３３	

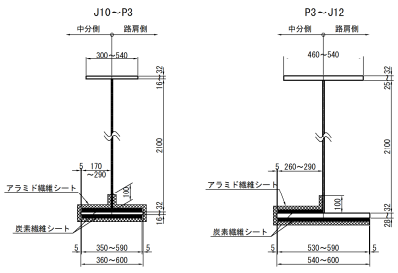
29 ／ 33

三迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その6） S=1:125

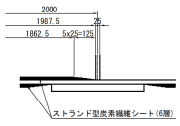
G5



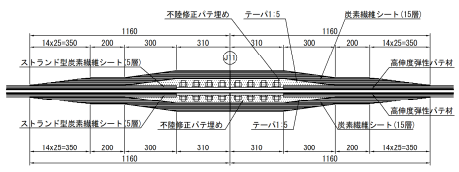
断面図 S=1:25



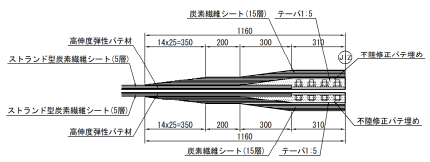
"a"部詳細図 S=1:25



J11部添接部詳細図 S=1:25



J12側添接部詳細図 S=1:25

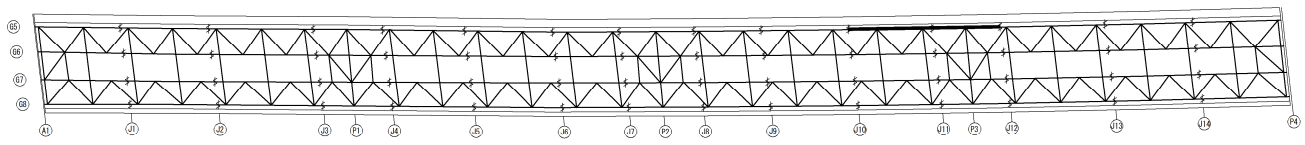


数 量 表

項　目	単位	数 量						備　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	4.098	0.657	8.321	4.952	0.306	1.111	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	3.002	0.485	6.564	4.100	0.390	1.530	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	3.002	0.485	6.564	4.100	0.390	1.530	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	3.002	0.485	6.564	4.100	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	3.002	0.485	6.564	4.100	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	9.006	1.940	32.820	24.600	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(3.002)	(0.485)	(6.564)	(4.100)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	7.638	36.555	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	(0.737)	(2.989)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	4.098	0.657	8.321	4.952	0.306	1.111	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	4.098	0.657	8.321	4.952	0.306	1.111	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.012	0.002	0.043	0.033	0.020	0.080	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:500



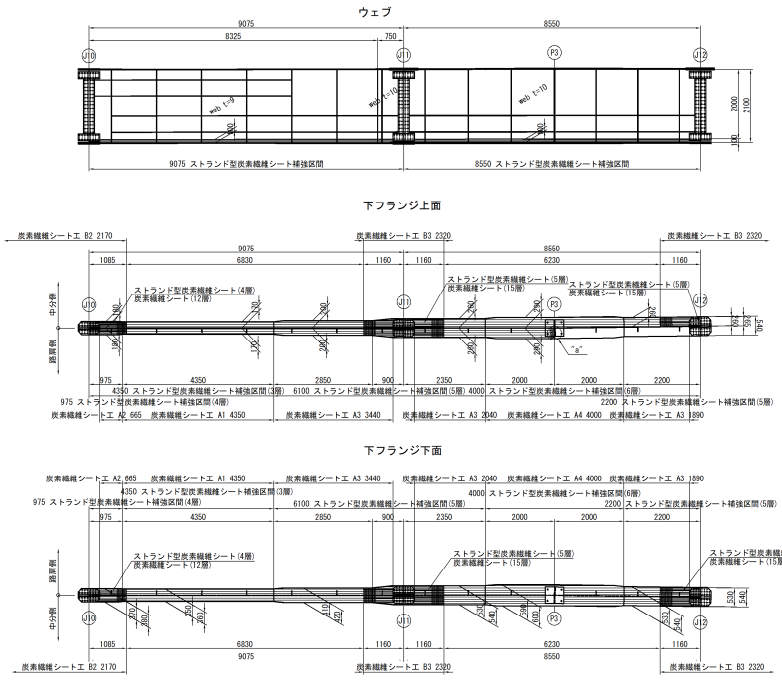
東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その6)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

正

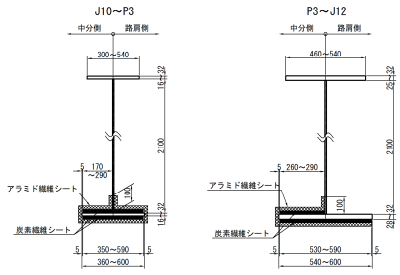
29 ／ 33

三迫川橋（上り線） 炭素繊維シート接着工図（その6） S=1:125

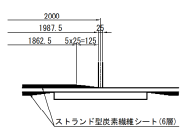
G5



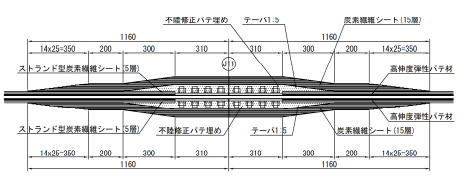
断面図 S=1:25



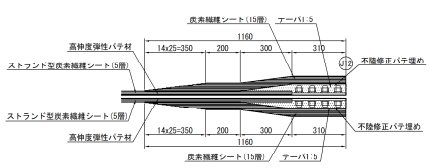
"a"部詳細図 S=1:25



J11部添接部詳細図 S=1:25



J12側添接部詳細図 S=1:25

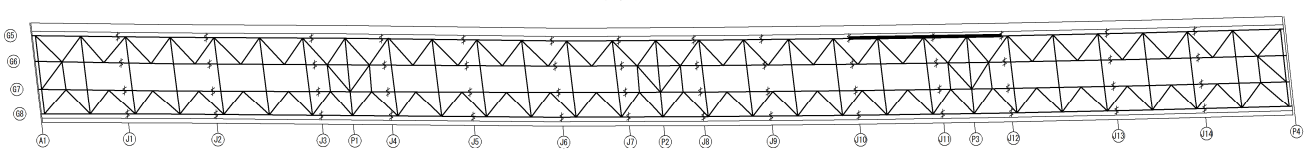


数 量 表

項　目	単位	数 量						備　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	4.098	0.657	8.321	4.952	0.306	1.111	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	3.002	0.485	6.564	4.100	0.390	1.530	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	3.002	0.485	6.564	4.100	0.390	1.530	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	3.002	0.485	6.564	4.100	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	3.002	0.485	6.564	4.100	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	9.006	1.940	32.820	24.600	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(3.002)	(0.485)	(6.564)	(4.100)	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	7.638	36.555	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	(0.737)	(2.989)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	4.098	0.657	8.321	4.952	0.306	1.111	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	4.098	0.657	8.321	4.952	0.306	1.111	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.012	0.002	0.043	0.033	0.020	0.080	

注）
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

位置図 S=1:500



東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その6)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

正誤表（３０／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

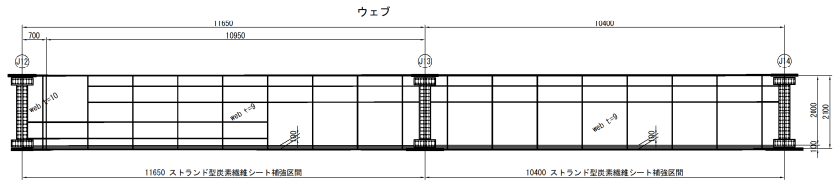
対象	誤
設計図 三迫川橋 （上り線） ３０／３３	

30 ／ 33

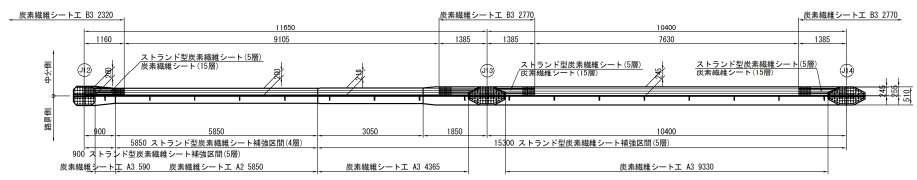
三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その7) S=1:125

G5

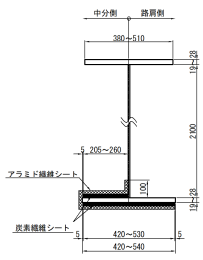
ウェブ



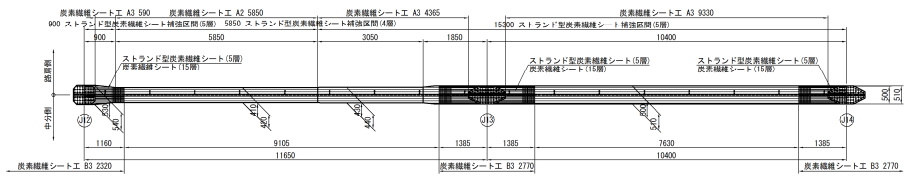
下フランジ上面



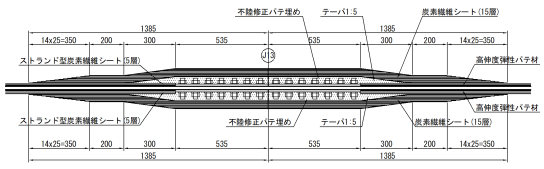
断面図 S=1:25



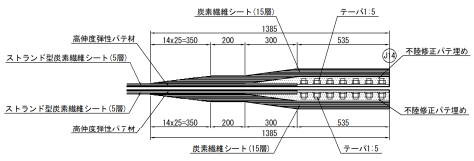
下フランジ下面



J13部添接部詳細図 S=1:25



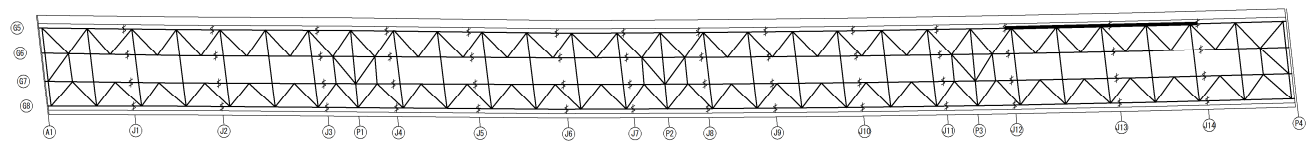
J14側添接部詳細図 S=1:25



数 量 表

項　目	単位	数　量						備　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	－	4.323	12.311	－	－	1.705	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	－	3.569	10.350	－	－	2.350	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	－	3.569	10.350	－	－	2.350	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	－	3.569	10.350	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	－	3.569	10.350	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	－	14.276	51.750	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		－	(3.569)	(10.350)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	－	47.220	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	－	(4.012)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	－	4.323	12.311	－	－	1.705	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	－	4.323	12.311	－	－	1.705	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎡	－	0.017	0.071	－	－	0.113	

位置図 S=1:500



注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その7)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

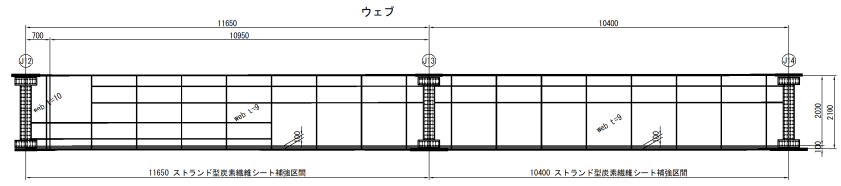
正

30 ／ 33

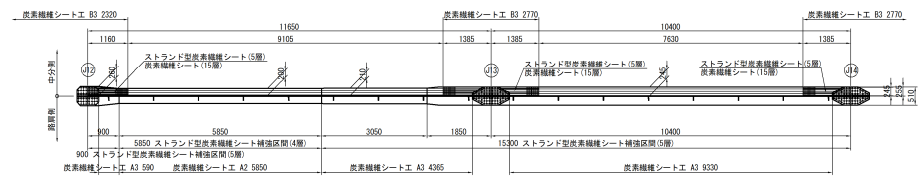
三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その7) S=1:125

G5

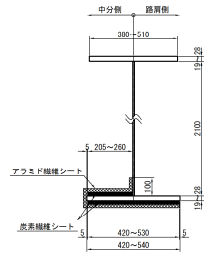
ウェブ



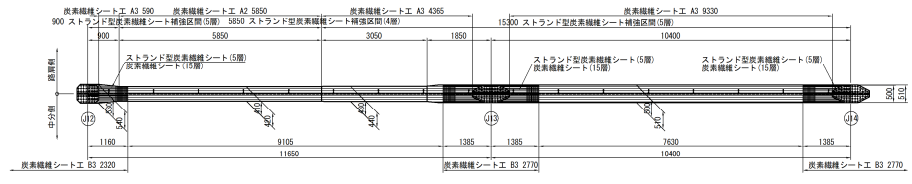
下フランジ上面



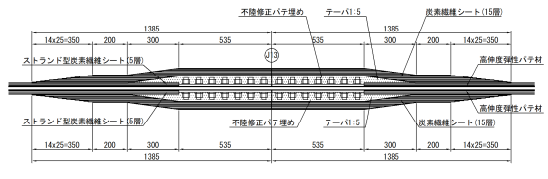
断面図 S=1:25



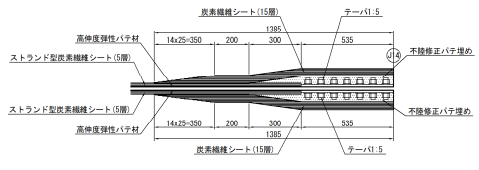
下フランジ下面



J13部添接部詳細図 S=1:25



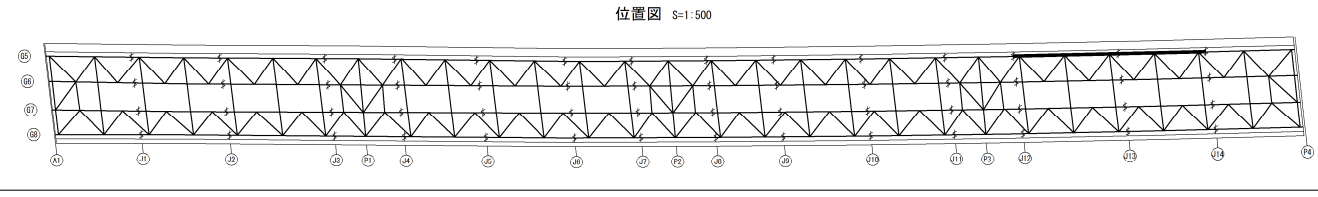
J14側添接部詳細図 S=1:25



数 量 表

項　目	単位	数　量						備　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	－	4.323	12.311	－	－	1.705	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマー工	㎡	－	3.569	10.350	－	－	2.350	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正工(エポキシパテ)	㎡	－	3.569	10.350	－	－	2.350	
高伸度弾性パテ用プライマー工	㎡	－	3.569	10.350	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	－	3.569	10.350	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	－	14.276	51.750	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		－	(3.569)	(10.350)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	－	47.220	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	－	(4.012)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	－	4.323	12.311	－	－	1.705	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	－	4.323	12.311	－	－	1.705	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎡	－	0.017	0.071	－	－	0.113	

位置図 S=1:500



注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その7)		
縮　尺	－	図面番号	／
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

正誤表（３１／３１）

（工事名）東北自動車道　迫川橋補修工事

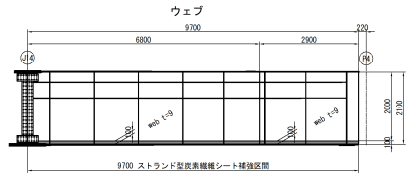
対象	誤
設計図 三迫川橋 （上り線） ３１／３３	

31 ／ 33

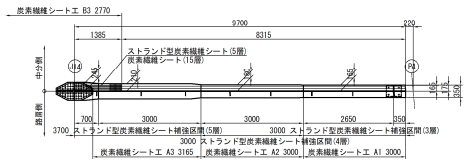
三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その8) S=1:125

G5

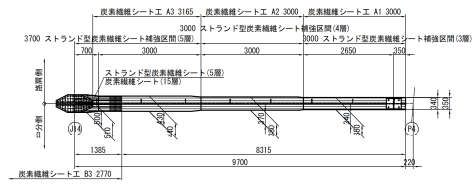
ウェブ



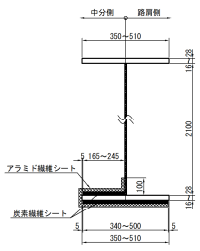
下フランジ上面



下フランジ下面



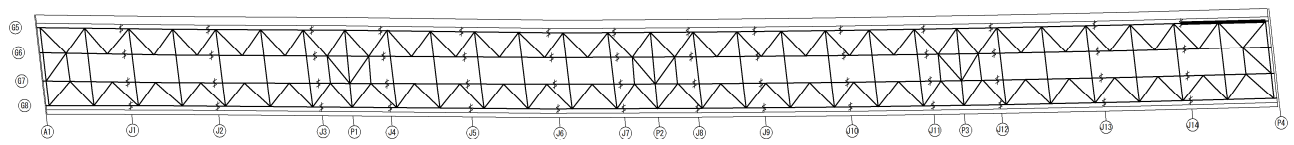
断面図 S=1:25



数 量 表

項　　目	単位	数　量						備　　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	1.893	2.037	2.471	－	－	0.473	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	1.515	1.650	2.043	－	－	0.623	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	1.515	1.650	2.043	－	－	0.623	使用量　1.2kg/㎡
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	1.515	1.650	2.043	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	1.515	1.650	2.043	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	4.545	6.600	10.215	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(1.515)	(1.650)	(2.043)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	－	12.285	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	－	(1.032)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	1.893	2.037	2.471	－	－	0.473	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	1.893	2.037	2.471	－	－	0.473	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.006	0.008	0.013	－	－	0.031	

位置図 S=1:500



注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その8)		
縮　尺	―	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		

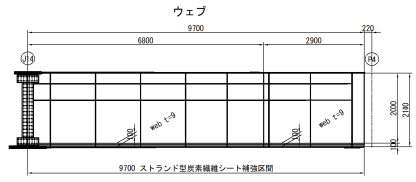
正

31 ／ 33

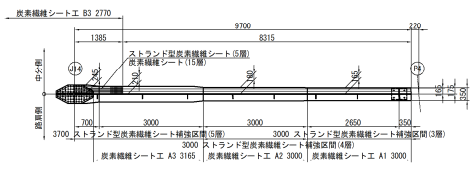
三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その8) S=1:125

G5

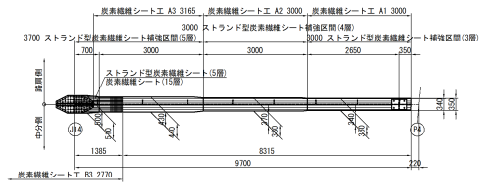
ウェブ



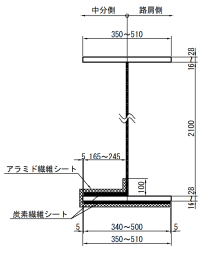
下フランジ上面



下フランジ下面



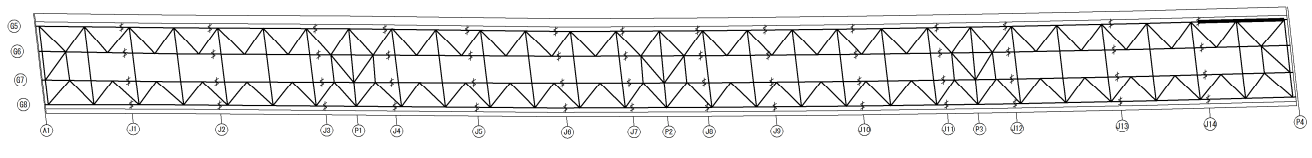
断面図 S=1:25



数 量 表

項　　目	単位	数　量						備　　考
		A1	A2	A3	A4	B2	B3	
下地処理	㎡	1.893	2.037	2.471	－	－	0.473	1種ケレン
エポキシ樹脂プライマーエ	㎡	1.515	1.650	2.043	－	－	0.623	使用量　0.15kg/㎡
不陸修正エ(エポキシパテ)	㎡	1.515	1.650	2.043	－	－	0.623	
高伸度弾性パテ用プライマーエ	㎡	1.515	1.650	2.043	－	－	－	使用量　0.15kg/㎡
高伸度弾性パテ（ポリウレア樹脂）	㎡	1.515	1.650	2.043	－	－	－	使用量　1.0kg/㎡
ストランド型炭素繊維シート接着工	㎡	4.545	6.600	10.215	－	－	－	高弾性タイプ　繊維目付900(g/㎡)
		(1.515)	(1.650)	(2.043)	－	－	－	一層目の施工面積(設計数量)
炭素繊維シート接着工	㎡	－	－	－	－	－	12.285	高弾性タイプ　繊維目付300(g/㎡)
		－	－	－	－	－	(1.032)	一層目の施工面積(設計数量)
アラミド繊維シート接着工	㎡	1.893	2.037	2.471	－	－	0.473	繊維目付180(g/㎡)
仕上げ塗装	㎡	1.893	2.037	2.471	－	－	0.473	フッ素塗料　中塗り，上塗り
不陸修正材体積	㎥	0.006	0.008	0.013	－	－	0.031	

位置図 S=1:500



注)
1. 施工前に現地計測を行い、確認すること。

東北自動車道 迫川橋補修工事			
図面の種類	三迫川橋(上り線) 炭素繊維シート接着工図(その8)		
縮　尺	―	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所		